

寄付特集号



昭和19年4月20日 兵庫県立医学専門学校一回生入学記念



神緑会館と事務棟・附属病院外来棟全景（左奥に旧第一病棟を望む）平成13年11月



明治2年に開院した神戸病院。手前の建物は番屋でその前の左再山(再度山)の道標は現在も残っている。



入口へ見通す神緑会館通路

目次	ページ
寄付のお願い 前田 盛	3
神緑会会員による寄付の現状	3
神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年 記念事業募金趣意書(第2報) 医学部長 的崎 尚 他	4
神緑会の皆さん頑張ってヒト奮発お願いします 坂上 明	4
神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業へのご協力を 谷 恵美子	5
神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業の応援 奥町富久丸	6
神緑会兵庫県西部支部合同講演会報告 長谷川昌美	7
記念事業座談会の開催 第2グループ	8
神戸大学基金寄附申込方法(個人、WEB)	9

目次	ページ
平成29年度一般社団法人神緑会総会開催報告	
会長あいさつ	11
物故者紹介	11
荣誉者・新任教授紹介	12
荣誉者表彰	13
新春学術講演会	
講演Ⅰ 邊見 公雄 司会 前田 盛	15
講演Ⅱ 市井 啓仁 司会 中野 康治	16
情報交換会	17
京都 iPS 細胞研究所(CiRA) 便り 徳永 愛子	18
iPS 細胞研究所勝手に応援団の立ち上げについて 前田 盛	19
わが母校誕生のころ(5) (故)中村 和成	21
神戸開港150年 真庭 謙昌(H2年卒)	22
Sweden 留学体験記 貝藤 裕史(H13年卒)	23
兵庫県立神戸医科大学での医学教育の今日的意義 松尾 理(S42年卒)	25
編集後記	35

今は自由にアクティブに暮らしたいけれど、 将来の介護は不安という方へ

予約不要のレストラン、大浴場、温水プール、フィットネスルームなど
共用部が充実。シャトルバスが三宮、元町へも無料運行。



夕食の一例



ウォータービューダイニング



温水プール

安心の医療支援体制と介護体制

将来介護が必要になっても、要介護者3人
に対してケアスタッフ(看護師含む)2人
以上という手厚い介護人員体制



おかげさまで
オープン半年を
迎えました!

介護付有料老人ホーム **入居時自立**

サンシティタワー神戸

所在地

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通2-3-5

アクセス

阪神電鉄本線「神戸三宮」駅より
1駅の「春日野道」駅下車
徒歩 約7分(約0.56km)



土地建物の権利形態/事業主体非所有

ご予約時に日程をご相談下さい。

個別見学受付 要予約



受付時間/午前9:00~午後5:00(土日祝も受付)

0120-33-1655

【サンシティタワー神戸概要】●所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号 ●敷地面積/12,431㎡ ●建築面積/5,861㎡ ●延床面積/57,391㎡ ●構造規模/RC造(一部S造)、地上35階 ●居室数/483室(37.30㎡~112.76㎡)、介護室/91室91名、一時静養室/4室4名(20.8㎡~25.61㎡) ●土地・建物の権利形態/事業主体非所有 ●事業主体・運営管理/㈱ハーフ・センチュリー・モア ●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院(大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km) ●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか ●協力内容/人間ドックに利用できます ■兵庫医科大学病院(兵庫県西宮市武庫川町1-1、施設から約18.5km) ●主な診療科目/総合内科、外科、眼科、整形外科、脳神経外科ほか ●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、人間ドックに利用できます【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック(別法人) ●主な診療科目/内科、外科、消化器内科、リハビリテーション科【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態/利用権方式 ●利用料の支払い方式/全額前払い方式 ●入居時の要件/入居時自立、原則満70歳以上の方(平成30年1月より) ●介護保険/神戸市(兵庫県)指定介護保険特定施設、神戸市(兵庫県)指定介護予防施設 ●介護居室区分/全室個室 ●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上 ■お客様の個人情報は、資料の発送や見学会のご案内のほか、各種の統計調査に利用する場合があります。尚、個人情報はご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。不都合がございましたらフリーダイヤルまでご連絡ください。

(株)ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

もう半世紀すこやかに
株式会社 ハーフ・センチュリー・モア

〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 30階
☎0120-77-5088 TEL. 03-3505-6688 FAX. 03-3505-6198

www.hcm-suncity.jp

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機(パナソニック)・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

寄付のお願い

神緑会会長 前田 盛 (昭和46年卒)

75・150周年事業も、平成28年12月の本格的活動開始から2年が経過しました。神戸大学基金を唯一の受け皿とし、国立大学法人の仕組みを生かした方法ですので、医学科や神緑会との距離を感じられる人も多いかと思います。今回、改めて医学研究科長・医学部長、附属病院長と神緑会長の連名で記念事業の詳細を説明するのは、この事業が適切なタイミングで行われ、医学研究科と病院の発展に役立つと思われるからでもあります。

兵庫県立健康生活科学研究所は基礎学舎の有馬街道をはさんだ西にあり、3月に加古川医療センターの隣接地に移転します。この情報は以前からありましたが、最近になって神戸市文化ホールが三宮近辺に移転することを神戸市が年末に発表しました。神戸市立中学校と小学校が統合移転再編されましたが、神戸大学には何の変化も生みだしませんで、率直に「イラ立ち」だけでしたが、成否は別に大きな夢をいだかせる状況です。

同様に神緑会の行っている寄付活動でも9ケタの寄付が実現し、たった一名の勇氣ある行動が我々に大きな希望を与えました。指一本を示された時、7ケタや8ケタの数字を想定できても9ケタは個人では想像を超え、これまでの低調な流れを大きく変えるインパクトを与えました。某理事会の雑音を拾うと「医者でそんな金持ちはいない」や「その人の言っている事は信じられるか？」はすべて取り越し苦労となり、ほどなく入金されました。

今後、一年間活発な活動を展開し、少なくとも1,000名を目標にします。学年単位では、昭和61年卒の14名が最多です。幸いにもでしょうか、ほとんどの学年がゼロでないのは希望がもてるとして昭和卒世代40年間、平成卒30年間でご協力お願いします。一人の目標額は10万円とし、それぞれの年代にふさわしい金額をお願いします。製薬協等が9ケタに近い見積りをだしたことがあります。寄付環境は大変厳しいようです。神緑会員の意気込みを示そうではありませんか。なお、ご意見も遠慮なくお出し下さい。

神緑会員による寄付の現在状況

今後、皆様のご意見を承りながら、氏名や金額を公表する予定です。なお、既に神戸大学基金のホームページでは、氏名が公表されています。

神緑会会員による寄付の現在状況

卒業年 (和暦)	寄付人数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付人数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付人数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付人数 (人)
昭和24年	1	昭和44年	3	昭和60年	8	平成13年	5
昭和25年	1	昭和45年	6	昭和61年	14	平成14年	3
昭和27年	3	昭和46年	9	昭和62年	2	平成15年	3
昭和28年	3	昭和47年	3	昭和63年	4	平成16年	2
昭和29年	3	昭和48年	1	平成元年	5	平成17年	1
昭和31年	3	昭和49年	5	平成2年	5	平成18年	1
昭和32年	1	昭和50年	3	平成3年	3	平成19年	4
昭和34年	1	昭和51年	4	平成4年	3	平成20年	2
昭和35年	2	昭和52年	12	平成5年	5	平成21年	2
昭和36年	4	昭和53年	3	平成6年	4	平成22年	2
昭和37年	4	昭和54年	3	平成7年	3	平成23年	2
昭和39年	3	昭和55年	8	平成8年	2	平成24年	1
昭和40年	4	昭和56年	13	平成9年	6	平成26年	1
昭和41年	4	昭和57年	6	平成10年	7		
昭和42年	6	昭和58年	5	平成11年	4	寄付合計人数	250名
昭和43年	6	昭和59年	9	平成12年	4	寄付合計金額	¥124,741,515

(H29.12末)

神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年 記念事業募金趣意書（第2報）

平素より、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科の活動に暖かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、来る平成31年は、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科の前身である兵庫県立医学専門学校（昭和19年）から75周年、兵庫県立医学専門学校の創設母体となった神戸病院創立（明治2年）からは150周年にあたります。この慶賀すべき節目の年を迎えるにあたり、神戸大学大学院医学研究科ならびに医学部附属病院では、一般社団法人神緑会のご協力も得て、記念事業の計画及び記念事業に関わる募金活動を進めて参りました。

記念事業は、神戸大学の強みと伝統である優れた基礎研究の成果を医療応用に繋げるとともに、附属病院における医工連携や臨床研究の推進を加速させることを目的とした未来医療開発研究センター（仮称）建設のための自己資金（4億円）に加え、医学部学生福利厚生施設の改修（1億円）や世界レベルの研究者を志す人材支援のための奨学資金（仮称）（0.2億円）を中心とし、神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念誌の発行や記念式典の開催も計画しております。このため、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科及び附属病院では、平成27年12月より、5億円を目標に募金活動を行って参りました。

各方面の皆様の温かいご支援により、現在までに約2億円のご寄付を頂いておりますが、現時点では当初の目標額からは隔たりがあるのが実情です。神緑会会員の皆様におかれましては、本学の現状と未来に対する各事業の重要性についてご理解頂き、今一度、格別のご高配を賜りたく、ご寄付をお願いする次第です。

平成30年2月吉日

神戸大学大学院医学研究科長・医学部長	的崎 尚
神戸大学医学部附属病院長	平田 健一
一般社団法人神緑会会長	前田 盛

神緑会の皆さん頑張ってヒト奮発お願いします

坂上 明（昭和24年 医専卒）

ふとしたことから生まれて初めて占い師に見てもらふ羽目に、結論としてあなたは最高に良い星のもとに生まれている凄く強運の持ち主だと言われました。然し小学校入学前に父親に先立たれたり、体が弱く毎週のように発熱して往診してもらったりで、あまり恵まれた方ではなかった。でも振り返ってみれば、麻疹肺炎でかかりつけ医に匙を投げられたり、紀ノ川上流で流されかけていたり、国試終了慰労麻雀後、自転車（借り物）に乗り坂道を下りて行く途中、ブレーキが効かずバス道（新開地～

平野）を横断して向こう側の電柱に衝突して止まり、前の家の方が音にびっくりして出たら、意識が無かったから水をぶっかけたら回復したので救急車で附属病院へ送ってもらった。危機一髪という状態が3回もありました。今回の私の9桁の大金を無事収められたのも強運のお陰と思っています。

中村氏の資料通り医専が大学に昇格することになったのは誠に目出度い限りだが、我が家は店もろとも3月14日の大阪大空襲でまる焼け、大黒柱の長兄は戦地なので大学どころではなく小遣いは無

いに等しく、殆ど奨学金で過ごす状況だったから1日も早く社会に出ねばならないので残念ながら医専に。GHQの勧告で4年卒が5年に。24年卒の後1年間のインターン（無給）を。

振り返れば私達の学生時代は寺小屋のようなもので戦前、戦後の端境期で何もかも大きく変わる時、例えば心電図等の講義は全くなく、また肝機能検査等の内科医にとって必須の知識習得に地元は勿論、東京へもしばしば泊りがけで出かけ学生時代以上の猛勉強をしました。お陰で恩師の故上月泌尿器科教授の急性心筋梗塞の超早期診断も出来ました。先進医学懇話会で各大学のトップクラスの教授達が最新の治験を発表された。一例を上げれば脳梗塞の予防にアスピリン etc（新聞に載るのは数年後）、というようなことで旧帝大出身のお偉方

もお手上あげ、開業当初、阪大卒か、京大卒か、神戸の医学校等聞いたことないと言っていた連中も評判を聞いて訪れるようになり当初の“門前雀羅を張る”から門前市を成した。

終わりになります。風光明媚、気候温暖の神戸は住みやすい街の中でも上位の方でしょう。家内は京阪神の三都市で住んだが神戸が一番住み易いということで開業も神戸を考えたが前記占い師が豊中の方が良いということで豊中に。ということで素晴らしい街神戸を舞台に現職の先生方は勿論、将来若手有能の士を地方からスカウトする等、超頑張っていた。神大の武田学長の目標通りの一大飛躍を切望しています。最後にもう一度、目標達成のため応援団の先生方に、どうぞ募金奮発宜しく願い申し上げます。

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業へのご協力を

再来年3月に開催予定の神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業に向けて神戸大学と神緑会で準備が進められています。神戸大医学部入学者の4割の人数を占めるようになってきた女性の立場からも応援メッセージを、ということで、原稿を書かせていただきました。

私は昭和58年に神戸大学を卒業後、眼科へ入局し、神戸大附属病院で研修、兵庫県立こども病院、済生会兵庫県病院、六甲病院で勤務をいたしました。各病院では、神戸大学の先生方のご指導をいただき大変お世話になってきました。平成6年12月末で六甲病院を退職し、平成7年3月に灘区の石屋川にて開業予定でしたが、内装開始予定の1月17日に震災が起こり、テナントが半壊、開業は延期となってしまいました。再度六甲病院に非常勤で勤務しながら街の復興を応援し、2ヶ月遅れにて5月22日にテナントの修理を終え無事開業となりました。この時、長男小学5年、長女小学3年生。育児もある部分は一息つくような、しかし思春期にさしかかりまだまだ手のかかる微妙な頃でした。この辺りの話につきましては、またの機会にゆっくり

一般社団法人神緑会副会長 谷 恵美子（昭和58年卒）と。

さて、開業後、神戸大学眼科研究生にさせていただき、休診日の木曜と週末に片上千加子講師（後に助教授）の指導を仰ぎ、角膜創傷治癒の研究をさせていただき、平成14年3月に桜が綺麗に開花した六甲台本部にて学位記授与を受けました。

さらに、平成17年7月には神戸大学眼科の大先輩である故、中川章先生（昭和31年卒）より現在のJR六甲道駅北側のテナントを継承させていただくこととなり、患者様も引き継ぎ、医院の移転をいたしました。開業後は、地元の病院や他科の先生との連携も大変重要で、特に神緑会の先生方とは顔の見える親しいお付き合いを続けさせていただき、スムーズなコミュニケーションに助けられています。

このように、医師人生の振り出しから、開業後の今に至るまで、すっかりお世話になってきた神戸大学医学部に対して、今させていただけることの一つは、記念行事が盛会に開けることへの応援と思い、この場を借りまして、同窓生の皆様からのご寄付、ご協力をお願いさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

神戸大学医学部創立75周年・神戸病院創立150周年記念事業の応援

一般社団法人神緑会副会長 大阪神緑会会長
奥町富久丸（昭和48年卒）

皆さん、お元気で活躍されていることと拝察します。ご存じのとおり表記記念事業の準備（資金集め）が、神緑会主導で3年余り前から進められています。その開催時期（平成31年4月予定）が近づいて参りましたので、私の応援を私事を交えながら表明したいと思います。

私が神戸大学医学部の病院に初めて出会ったのは、4歳（昭和27年）頃でした。当時の大学病院は「県病」と呼ばれており、前の通りを市電が走っていました。そして煙突掃除が業務として成り立つ時代でした。お見舞いにつれられて病院を訪れた際、交差点近くの店先で、私が欲しいものをねだりぐずっていたときの事です。通りかかった真っ黒な顔をした煙突掃除のおじさんが、「いうことを聴かない子は、この袋に入れて連れて行くぞ！」と、煤で汚れた道具入れを指さしながら顔を近づけてきました。私はびっくりして、泣くのをやめました。その後のことは覚えていませんが、合格発表を見に大学を訪れた時に、その情景を想い出しました。その時、病院前の風景は昔のまま残っており、市電停留所の表示は「県立病院（大学病院）前」でした。

私は卒業後、布引にあった神戸市立中央市民病院へ研修医として勤めました。本邦初の救急救命センター発足で貴重な体験を積むことができました。臓器別診療体制や各診療科の枠を取り払った救急体制など今では珍しくない新制度の下で、教科書に記載されていない病状を手術や剖検で確かめることができたのです。時代と共に市電は廃止され、市民病院は布引からポートアイランドへ移り、私の勤務先は神戸から大阪へと移りました。大震災では大阪市職員として応援を志願し、神戸の状況を助役（後の市長）に報告しました。

私と神緑会の繋がりは、その大阪で始まりました。布引時代は柔道部後輩がカンパ集金にきていましたが、ポートアイランドではそれもやがてなくなりました。「終身会費も払ったことだから同窓生の義務は果たした」と大学との希薄な繋がりは全

く気にしていませんでした。しかし、大阪で仕事を始めると状況は異なりました。周囲に見知った人は皆無で、相談や援助を期待できる状況ではなくなりました。その中で見知らぬ先輩から勉強会の講師に招かれました。そこで楠町の話が通じた時に同窓会の良さを実感しました。さらに十三で一氣に同窓先輩の知己を得ました。医療から行政に移った際、先輩から大阪神緑会に誘われました。「同窓から大阪府医師会役員を出すことになったので同窓会の留守番になれ」といわれたのがきっかけで、同窓会に参加するようになりました。そこでの何ともいえない心地よさを体験して以来、大阪神緑会は私にとってオアシスのような存在になりました。近づいて顔をだせば気持ちに潤いを得られます。渴きをもたれている皆さんにはぜひ味わって欲しい感覚です。

私は現在、大阪で開業し大阪の同窓を代表して一般社団法人神緑会役員を勤めています。大阪と神戸の距離を縮めることが恩返しになると信じています。そして大学を取りまく環境が厳しくなっている今、これまでの基盤を与えてくれた大学にも恩返しをする時だと思っています。今回の行事が私たちの足跡を固め、未来への可能性を拓ける記念事業になってくれることを期待します。大勢の同窓生が楠町に思いを馳せ、協力されることを願います。



現在の病院前のソテツの風景
明治時代の神戸病院に由来するや否や…

神緑会兵庫県西部支部合同講演会 報告

神緑会加古川支部長 長谷川昌美（46年卒）

「た研究大学へ』を目指して、「世界最高水準の教育研究」を行う大学としての機能強化に取り組んでおられます。的崎先生に、このような視点で、「医学部大学院医学研究科としての現況と展望」につき解説を頂きました。

藤澤先生には「附属病院の進む道」を病院の現状データを基に詳細に説明をいただきました。

神戸大学医学部は、昭和19年設立の兵庫県立医学専門学校を母体とし、兵庫県立医科大学、県立神戸医科大学を経て、昭和39年に国立に移管され神戸大学医学部となり、現在は国立大学法人として教育・研究・診療活動を進めております。平成31年は、神戸大学医学部医学科創立75周年・明治2年設立の神戸病院創立150周年にあたります。この慶賀すべき節目を迎えるにあたり、一般社団法人神緑会は、全面的な協力で記念事業を行う予定で、そのための寄付金集めも進行中で、引き続きご理解頂き“絶大な支援を”とのお願いがありました。

最後に、今回多数の会員の参加を頂き、伝統ある神戸大学医学部の卒業生であるという『心・誇り』を共有し、親睦を深め盛会裏に終わりました。皆様に心より感謝申し上げます。

平成29年度の神緑会加古川支部総会は、平成29年11月30日（木）、加古川プラザホテルに於いて例年と少し趣向を変えて、兵庫県西部支部合同講演会として開催されました。この会の開催経過を申し上げますと、平成29年6月の神緑会定時社員総会で、前田会長から、平成23年から一般社団法人への移行に伴って、本部・支部の一体化が実現しているのを周知する会を『神戸大学医学部の現状報告』をテーマに、開催できないかという打診を受けて、準備にかかった訳です。加古川支部、姫路支部、高砂支部、明石支部で合同の開催ですが、その趣旨が伝わって、実際集まって頂けるのか不安でした。鏝

寛之姫路支部支部長の絶大な協力も後押しとなりました。

そして、的崎 尚研究科長・医学部長、藤澤正人付属病院長のスケジュールを調整して11月30日に加古川で開催することになり、西部支部合同講演会として北播支部、神戸神緑会西部支部にも案内いたしました。

我が神戸大学は、1902年（明治35年）にこの国際港湾都市・神戸に生まれ、以来115年の歴史を刻んでいます。武田 廣神戸大学学長は、神戸大学ヴィジョン『先端研究・文理融合研究で輝く卓越し



藤澤病院長、前田会長、的崎医学部長



前田会長、橋新日鉄広畑病院長



懇談風景

記念事業座談会の開催 第2グループ

昭和19年4月に発足した兵庫県立医専の発足の頃の様子については、故中村和成先生が同窓会誌に連載した内容をまとめた「わが母校誕生のころ」が長く、唯一の記録として語り継がれてきた。

60周年記念で昭和24年から昭和29年卒の11名による座談会を行い、その記録を学術誌に掲載した(第21巻65～97頁)。その後の展開について十分な準備が行われてきたわけではないが、平成28年より、神戸大学と神緑会の連携による75周年・150周年記念事業の中で、大学が中心となって発行する記念史は、あくまでも大学の視点からの記録であり、神緑会としてどのように取り組むかが問われている。

とり急ぎ60周年に引き続いての座談会を企画し、30年～36年の第1グループ、37年～42年の第2グループの方々による会を2月～3月に開催することにしました。第1グループが3月3日、第2グループが2月10日に開催の運びとなりました。

今後は、第1、第2グループの座談会内容の入力を進め、43年～49年卒、50年～56年卒、57年～63年卒とそれぞれ7年間で、平成卒はちょうど30年間ですので、元年～10年、11年～20年、21年～30年のグループ分けで、適当な幹事を選んで夏休みぐらいにかけて順に座談会を開催する予定です。

座談会(第2グループ)ご出席の皆様へ

第2グループ担当 西岡 正登(40年卒)

このたびは神戸大学医学部75周年記念学術誌掲載用座談会へのご了承賜りありがとうございます。

座談会は過去に50年記念誌60年記念誌に掲載されております。今回は75年記念誌に30年～36年卒の第1グループと37年～42年卒の第2グループの座談会を掲載したいとの意向で企画されており当時の医学部生活を振り返り思い出し、記録に残していくことが求められています。

内容としては、医学進学過程、学生時代の講義やクラブ活動(運動部と文化部)、教授の思い出、インターン、基礎配属、学園祭、インドネシア医学調査隊、国家試験の思い出、教授経験者の(本学と他大学)話、その他、さらに国立移管がこの年代に行われているのでその事情などが主なものとなるのでしょうか。

前田会長の趣旨説明に引き続き出席者各自の自己紹介を2～3分でお願ひし、座談会に入ってゆければと考えています。

上記の内容についての思い出を整理の上ご出席を宜しくお願ひいたします。

座談会出席者

司会：西岡 正登(40年卒)

神緑会会長 前田 盛

神戸医科大学

37年卒 藤谷 哲造、水野 耕作

38年卒 老耜 宗忠、西村 亮一

39年卒 木村 浩、中村 肇

40年卒 杉原 俊一、西岡 正登、吉田 祥二

41年卒 守殿 貞夫、山村 武平

42年卒 大賀 祐造、田中 邦彦、谷山紘太郎

その他の記念活動の募集

現在のところ、ゴルフコンペの企画程度が話されていますが、各種のスポーツ、文化事業をご提案下さい。



神戸大学基金寄附申込方法（個人）

皆様からのご寄附は、神戸大学基金委員会の厳正な管理のもと、神戸大学基金として有意義に使わせていただきます。寄付者を明記することで全額医学科が使用します。ご寄附の方法は以下のとおりです。

ご寄附の方法

a. WEB 申込みフォームからのご寄附（クレジットカード決済、インターネットバンキング、銀行振込）

申込みフォームからお申し込み頂きますと、入力画面にご登録頂いたメールアドレス宛に申込完了メールをお送りいたします。

クレジットカードによるご寄附

- ・ご利用いただけるカードは、「JCB」「VISA」「MasterCard」「AMEX」「Diners Club」です。
- #### インターネットバンキング・銀行振込によるご寄附
- ・申込完了メールにて、神戸大学基金の口座情報をお知らせ致します。
 - ・手数料は寄附者のご負担とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
 - ・金融機関の窓口及び ATM で10万円を超える現金振込を行う場合は、振込をされる方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポート等）の提示が必要となりますのでご注意ください。

b. 本学指定の払込取扱票によるご寄附

趣意書及び神戸大学基金専用の払込取扱票を送付しますので、基金推進室までご連絡先（お名前・住所・電話番号）をお知らせください。

- ・払込取扱票に記載の銀行（本支店間）又は郵便局の窓口からお振り込みいただくと手数料はかかりません。
- ・金融機関の窓口及び ATM で10万円を超える現金振込を行う場合は、振込をされる方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポート等）の提示が必要となりますのでご注意ください。

c. 現金以外によるご寄附をお考えの方

有価証券、不動産等の現金以外のご寄附や遺贈によるご寄附など、上記以外のご寄附をお考えの方は、基金推進室までお問い合わせください。

備考

- ・事業を指定してご寄附いただくことも可能です。寄附者名称記念事業を指定される場合には、基金推進室までお問い合わせください。

領収書の発行について

領収書は、本学に入金された日付での発行となります。

a. クレジットカード決済の場合

- ・クレジットカード寄附でお申し込みいただいた寄附金が神戸大学に入金されるまでには申込日から約2～3ヶ月を要します。
- ・クレジットカード寄附でお申し込みいただいたご寄附の領収書の日付は、申込日ではなく、寄附金がクレジット会社から神戸大学に入金された日付となります。そのため、お申し込みが毎年10月中旬以降になりますと、領収書の発行日が翌年になる可能性があり、その場合は寄附金控除も翌年の対象になりますのでご承知おきください。10月中旬以降のお申し込みで、その年の寄附金控除をご希望の場合は、銀行又は郵便局振込をご利用ください。

b. 本学指定の払込取扱票によるご寄附又は WEB 申込みフォームからのインターネットバンキング・銀行振込によるご寄附

- ・指定口座への入金確認後、領収書を発行するのに3週間前後かかりますので、ご了承ください。

領収書は確定申告に必要となりますので、大切に保管ください。

個人情報に関して

お送りいただいた連絡先は、個人情報保護法等を遵守の下、寄附金収受業務にかかること及び基金推進活動に関する以外には使用しません。

振り込み先口座は、所属や名前の公表等の記録面より、従来の払込取扱票の使用が原則とされています。同用紙の送付やご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

神戸大学 医学部総務課総務係 078-382-5015

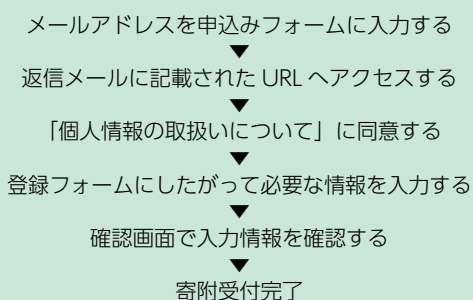
WEB 申込みフォームによる寄附のご案内

WEB 申込みフォームによる寄附をご利用いただくには、以下の「利用方法・注意事項」に同意していただく必要があります。

同意していただける方のみ、申込みフォームへお進みいただけます。

利用方法・注意事項

寄附の流れをご確認ください



申し込みについて

- お申し込みは個人の方のみとさせていただきます。
法人、団体からのお申し出につきましては、お手数ですが寄附申込方法（法人）をご確認ください。
- 寄附受付完了後は、お取り消し・ご変更・ご返金は一切お受けできませんのでご注意ください。
※申込情報確認画面では、金額等を充分にご確認ください。
- 寄附受付完了後、申込みフォームでご入力いただいたメールアドレス宛に、お申込完了メールが配信されますのでご確認ください。

支払いについて

a. クレジットカード決済の場合

- 寄附金は通常のカード利用と同様の扱いで口座引落としになります。
- クレジット会社から利用明細書が送られてきますのでご確認ください。利用明細書には「神戸大学基金」と表示されます。
- 口座引落とし不能の場合、クレジット会社等からご連絡させていただくことがございます。

b. インターネットバンキング、銀行振込の場合

WEB 申込みフォームからのお申し込み完了後に、ご登録頂いたメールアドレス宛に神戸大学基金の口座情報をお知らせ致しますので、インターネットバンキング、ATM 等をご利用の上お振り込みください。

領収書日付について

領収書は、本学に入金された日付での発行となります。

a. クレジット決済の場合

- クレジットカード寄附でお申し込みいただいた寄附金が神戸大学に入金されるまでには申込日から約2～3ヶ月を要します。
- クレジットカード寄附でお申し込みいただいたご寄附の領収書の日付は、申込日ではなく、寄附金がクレジット会社から神戸大学に入金された日付となります。そのため、お申し込みが毎年10月中旬以降になりますと、領収書の発行日が翌年になる可能性があり、その場合は寄附金控除も翌年の対象になりますのでご承知おきください。
10月中旬以降のお申し込みで、その年の寄附金控除をご希望の場合は、銀行又は郵便局振込をご利用ください。

b. インターネットバンキング、銀行振込の場合

- 指定口座への入金確認後、領収書を発行するのに3週間前後かかりますので、ご了承ください。

セキュリティについて

お申込情報の送信には SSL 暗号化通信を採用することにより高度な安全性を確保し、専用のサーバを用いてセキュリティの向上に努めております。

本学の責に帰すべき事由があった場合を除き、本学はお申込みにより生じるいかなる損害についても一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

個人情報について

申込みフォームに入力の事項は、本来の目的（寄附金收受業務にかかること及び基金推進活動に関すること）以外には使用しません。

ご本人の同意を得ずに、個人情報を第三者に提供することはいたしません。なお、一部業務を（株）フューチャーコマースに委託しておりますが、神戸大学プライバシーポリシーにより、個人情報を適切に管理・保護し、適正に取り扱います。

「利用方法・注意事項」に同意する

これより先は、（株）フューチャーコマースの F-REGI 寄付支払いサイトでのお手続きとなります。

「利用方法・注意事項」に同意しない

特集

平成29年度一般社団法人神緑会総会開催報告

会長あいさつ

時間が限られているので、簡単に最近の神緑会活動を報告します。第一に6月20日の総会で役員選挙が行われ、新しい理事、監事が選出されました。副会長に初の女性の選出、常務理事に眼科学の中村教授が就任しました。そして、昭和卒世代から平成卒世代にバトンタッチを目指しています。

11月に2年毎に発行している名簿を発行しました。空欄の多い学年も含めて、各学年のクラス代表に協力してもらいました。ただ、総会開催案内のハガキが住所変更の通知に役立っていました。広告の形で各支部、名刺広告の協力をえました。

第三に本部と支部との共同活動として、大阪神緑会、西部神緑会（加古川支部のお世話で神戸神緑会の須磨区以西、明石、高砂、北播、姫路支部：赤穂市までの地域をカバー）で大学の崎研究科長・医学部長、藤澤病院長のご講演により、大学の現状、大変努力されている状況を報告いただきました。一般社団法人となったので、本部・支部活動を自由に行えるので、関東支部、約250名ですが、東京都150名に加えて、栃木、埼玉、茨城、群馬、千葉、神奈川に各支々部を置いて、それぞれの活動と東京で全体の活動を行う方向です。

第四に75・150周年記念事業です。大口の寄付もあり、全体で1.9億となりました。平成31年4月を目標に、記念史の発行、記念式典を行います。記念史は大学の発行ですが、学年横断の座談会を開催し、神緑会の活動を広げていきたいと考えております。

今日は、長時間にわたりますがご協力お願いします。



理事会集合写真

物故者紹介

平成29年物故会員

卒年	氏名	ご逝去日
名誉	東 健	2017年4月5日
	京極 方久	2017年7月25日
	松本 悟	2017年11月7日
S25	秋川 藤次	2017年2月20日
	木原 誠一	2017年5月20日
	佐藤 正	2017年9月12日
	増田 澄	2017年12月13日
S27	石田 哲哉	2017年6月24日
	岡田 勇雄	2017年9月29日
	加藤 藤信	2017年10月13日
	二宮 久雄	2017年4月
	橋本 貞二	2017年6月5日
S28	和田 功	2017年3月23日
S29	石川 友衛	2017年2月22日
	福屋 正史	2017年8月22日
	鷺見 武彦	2017年3月12日
S30	青山 喬	2016年9月12日
	小嶋 高根	2017年12月27日

卒年	氏名	ご逝去日
	水津 昭	2017年1月16日
	世良 和明	2017年9月9日
	武内久仁生	2017年6月28日
S31	青木 英夫	2017年9月28日
	渋谷 嘉晃	2017年3月10日
	山内 敏弘	2016年11月29日
S32	江里口 涉	2017年3月12日
	駒井 健	2017年1月27日
S32	森 泰三	2017年8月30日
S33	勝呂 哲夫	2017年11月12日
S34	谷村 憲一	2013年
	廣瀬 長敏	2017年6月21日
S35	平岩 英一	2017年5月6日
S36	釜江 玄司	2016年6月8日
S37	島谷 博允	2015年6月5日
	藤田 忠義	2017年1月
	松田 源治	2016年3月8日
S42	保尾 道紀	2017年6月12日

卒年	氏名	ご逝去日
S43	蓮池 浩明	2017年12月31日
	平田 富男	2017年2月9日
	蒲生寿美子	2017年8月30日
S44	奥田 智	2013年1月30日
	仲松 栄	2017年7月18日
S46	田中 親彦	2017年3月3日
S48	蘆田 寛	2017年1月2日
	大角 幸雄	2017年3月13日
S52	坂田 敏郎	2017年1月10日
	佐久間良二	2016年2月27日
S55	谷口 俊夫	2017年6月25日
S58	辻井 朗	2017年7月16日
	三木 哲雄	2017年7月25日
H4	池内 裕司	2017年6月18日
H9	森 裕之	2017年2月26日

51名

◆ 栄誉者・新任教授紹介

栄誉者並びに新任教授一覧（平成30年新春）

* 過年度就任

【叙勲等】

第107回（平成29年）日本学士院賞
瑞宝双光章
瑞宝双光章
旭日小綬章
紫綬褒章

戸田達史（名譽）
中川巖（34）
宮本雄一（40）
伯井俊明（44）
貝淵弘三（55）

【病院長・医師会長等】

兵庫県病院事業管理者
関西電力病院 院長
甲南病院 病院長
県立こども病院 院長
兵庫あおの病院 病院長
県立がんセンター 院長
県立リハビリテーション中央病院 院長
京都警察病院 病院長
赤穂市医師会 会長
高砂市医師会 会長
兵庫県健康福祉部 兵庫県健康福祉部長
神戸市 精神保健対策監及びこころの健康センター 所長

長嶋達也（52）
千葉勉（49）
具英成（52）
中尾秀人（53）
*浅香隆久（54）
吉村雅裕（56）
橋本靖（58）
*誉田芳孝（59）
*黒田和司（52）
*増田章吾（58）
山本光昭（59）
北村登（58）

【神戸大学医学研究科及び医学部附属病院教授就任】

神戸大学 副学長
神戸大学医学部附属病院 病院長
国際がん医療研究センター 国際医療連携推進学 センター長
先進的がん医療・研究推進学 特命教授
先端医療テクノロジー開発・応用学 特命教授
肝胆膵外科学 教授
生理学・細胞生物学講座 解剖学分野 教授
救急部 教授

杉村和朗（52）
平田健一（59）
味木徹夫（63）
角徹泰雄（H6）
山口雷藏（特別）
福本巧（特別）
仁田亮（特別）
小谷穰治（正イ）

【神戸大学外教授就任等】

甲南女子大学医療栄養部 教授・学部長予定
名古屋大学大学院医学系医学研究科認知機能科学 客員教授
琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座 教授
浜松医科大学医学部泌尿器科学講座 教授
ペンシルバニア州テンプル大学 教授
カリフォルニア大学アーバイン校 教授

宇佐美 眞（52）
櫻井 孝（60）
中西 浩一（H1）
三宅 秀明（H5）
豊田 吉哉（H2）
市井 啓仁（H7）

今回から以下表彰状を授与しました



表彰状（受賞）



表彰状（教授就任）



神緑会表彰で使われていたペナント、費用の点から中止された。復元を検討中です。

◆ 栄誉者表彰



司会：谷副会長



具 英成

83年の伝統ある甲南病院長、法人本部長に就任しました。建て替えが進行中です。御影の地に大きな規模となります。人材補給にご支援をお願いします。

受賞者コメント

それぞれの表彰理由は、前頁の一覧表をご覧ください。



戸田 達史

(東京大学医学部神経内科学教授)

この後も神戸にいるが、予定の会出席のため、会長挨拶時に割り込みとなりました。

7月より東京大学神経内科に異動しました。神戸大でも引き続き客員教授席は残し、研究を継続します。学士院賞受賞記念講演会を支援いただきありがとうございました。



中尾 秀人

昨年4月に第10代病院長に就任しました。こども病院は、県政100周年で創立され、平田故名誉教授が初代院長でした。すべての科が神戸大と連携しておりますので、ご支援をお願いします。



浅香 隆久

あおの病院は聞きなれない名前だと思います。青野ヶ原療養所から病院となり、約2年前に北播磨医療センターの隣に新築移転しました。200床の重症心身症と50床の一般回復期病床です。よろしくをお願いします。



中川 巖

医師会の役員を歴任し、多くの学校の耳鼻科検診を行いました。ただ、私だけでなく耳鼻科医会の皆さんの協力で行いました。播州弁の「なんでやねん」が正直な受賞の感想ですが、時には1時間～2時間半も車がかかったり、家島群島でも行いました。全体の表彰をたまたま私が受賞したと思

いますが、他には250年続いた、医家への措置と思います。



橋本 靖

県政100周年で澤村先生が作られた病院です。最初は他になかったので多くの患者が集まったが、今は全国どこにでもあるのでがんばります。社会福祉事業団と兵庫県の支援を受けています。北播磨医療センターより異動しました。



長嶋 達也

昨年4月より就任しました。県立13病院を所管し、3病院に続いて、柏原、姫路の統合新病院、西宮、がんセンターにも対応しつつあります。子

にも残せる自立した病院作りを行うのでご支援をお願いします。



増田 章吾

平成28年6月に前任山名会長の後任となりました。人口9万人余で64の医療施設です。謡曲の「たかさごや」の地であり、地域医療に貢献します。



～司会、中村常務理事に交代～



平田 健一

循環器内科の教授であり、病院長に2月より就任します。杉村、藤澤の前任病院長は院内の充実に努めてきました。課題は、臨床研究中核病院の指定でこれがないと兵庫県内の臨床研究ができません。第2にこの後あいさつする味木教授の国際がん医療研究センターの経営、診療面です。第3に人材の育成で県内医療機関と連携し充実したプログラムが必要です。



味木 徹夫

昨年4月に付属病院センター長となりました。医療産業都市内での発展に努めますので、ご指導ご支援をお願いします。120床まで段階的に増やします。



角 泰雄

味木先生と同じセンターで副センター長です。大腸を専門に低侵襲手術の開発を行います。



山口 雷藏 (産業医大卒)

昨年4月に帝京大から着任しました。これまで国立と静岡・がんセンターの泌尿器科で研鑽し、今回は手術支援ロボットの国産開発の拠点として、臨床の責任者です。ロボット手術は1月17日に13領域の保険適応が承認され、次の4月より運用されます。



福本 巧

滋賀医大卒で6月に就任しました。卒後直ちに神戸大第一外科に入り、2004年に具教授誕生時に准教授となりました。家族を含めた神戸大学と縁が深く、引き続きがんばります。群大を参考に安全な手術に努め、今後建設される統合病院を支援します。



小谷 穰治

山口大卒で直ちに神戸大1外に入りました。1外に15年間在籍の後、兵庫医大を経て昨年4月に着任しました。研修等の選択に救急体制が評価されるのでしっかり努めます。家族に神戸大卒が多く、神戸大のためにがんばります。



宇佐美 眞

2月2日に実施審査があり、就任予定でしたが、4月より医療栄養学部長となります。保健学科に20年、付属病院の栄養担当を9年間行いました。医師の栄養に関する知識は少ないといわざるをえず、4年後の80名に大きく期待している。実習及び卒後の採用をお願いします。



三宅 秀明

浜松医大に昨年4月就任しました。その2年前まで、長く神戸大で育ててもらったので、東海地方で注目されるようにがんばります。



市井 啓仁

特別講演であいさつするので簡単な顔見せですますよう指導がありました。よろしくお願いします。

本年8月発行の学術誌に欠席者も含め、経歴、抱負などを掲載します。
(事務局)

新春学術講演会 プロフィールと講演要旨

■講演 I

演題「生命（いのち）輝かそう神緑会」

邊見 公雄（へんみ きみお）



役 職 公益社団法人全国自治体病院協議会会長
 一般社団法人全国公私病院連盟副会長
 厚生労働省社会保障審議会医療部会委員並びに医療分科会委員
 (2005.9～2011.10中央社会保険医療協議会委員)
 文部科学省医学歯学教育モデルコアカリキュラムに関する専門研究委員会委員
 兵庫県参与
 関西広域救急医療連携計画推進委員会会長
 学校法人自治医科大学評議員
 公益財団法人日本医療機能評価機構理事（元サーベヤー）
 地域医療福祉情報連携協議会名誉会長
 一般社団法人日本専門医機構理事
 ほか、国・県・自治体等多数の役職を兼任

神緑会ニュースレター第9巻第3号では経歴も含めて掲載



司会 前田 盛

赤穂市民病院長としてご活躍され、公益社団法人全国自治体病院協議会会長を長く勤められている事でも有名です。特に平成16年から中医協委員として、診療報酬の体系を改善された事で有名です。

ご講演は、手話での挨拶より始められ、豊富な資料に基づいて、多くの点ではユニークな説得力のある説明を行われた。病院は、30以上の職種が協力して運営しており、その代表である事を支払い側委員に説明して回った。

人口減少の中での医療は厳しいが、今年は「惑星直列」の年と言われ、2025年どころかその後年を見すえての取り組みが求められる。年金財政で何人が下支えするかの表現をヤクルト型と言っていたら、厚生労働省が乳酸飲料型と言いだした等、ユーモアをふまえた説明をされた。地方創生（再生）は医療と教育と一次産業（の六次化）が十分条件ではないが、必要条件だと以前より主張している。医療の無い所には人は住めない等すべてに説得力のある内容でした。

専門医制度や中医協での大幅アップの経過もお聞きしたかったが、時間の関係で終了となったのは大変残念でした。情報交換会にも出席いただき、会員とも懇親を深められた。

私の考え 2-1

- ・ お医者様はいらっしゃいますか.....医師はどこの医師であれ 医療者は皆同じ 業前師も当然
- ・ 下り線にも乗りましょう.....高知峠を越えさせない
- ・ 耳し借りのない人生取り引かない
- ・ エバーチャレンジヤ.....少しでも早く
- ・ 死んでも満足していただける病院づくり.....ティズニーとヨコに学ぼう
- ・ 癌しの確信
- ・ 開かれた病院づくり.....住居（患者、ボランティア等）参加
- ・ ナガティブヒーローはもう作らない.....医療安全いろはカルタ
- ・ おじぎろ兄弟からの脱却
- ・ 「人をみる(Nimo, Ichiro)」
- ・ 「人を動かす(金、イデオロギー、情)」
- ・ 「院長の孤独」.....実えは職員と患者様
- ・ 医療は大学病院レベル、人間関係は診療所の様に
- ・ チーム医療は医療の中心
- ・ 3H + 4
- ・ 救急は医療の原点
- ・ 救急車は断るな.....中にいるのは自分の親や子と思え
- ・ 当直者は、院長、部長と思って仕事を
- ・ 在宅医療のキーパーソン・・総合診療医、特定行為の出来る看護師、かかりつけ薬局、リハビリ関係者、訪問栄養士
- ・ 地域包括ケア病棟は、地方病院に無いの神

私の考え 2-2

- ・ Everything & Something
- ・ 1円の歳手
- ・ 朝一番、帰宅前最後に回診を
- ・ お見送りは出来るだけ多くて、心を込めて(グリーンケアを含めて)
- ・ 受付、交換手は病院の顔
- ・ 研修医へ「部長、主任こそ先生」
- ・ 自院を知り、自院を愛そう！！
- ・ 医療職 求人先は出来るだけ多く
- ・ 家族(特に孫)の面会、ベッドは出来るだけ緩やかに
- ・ 患者さんの心を開け(方言、趣味、スポーツなど)
- ・ 失意奈落得意奈落
- ・ 会議は前泊か後泊(9時～10時では本音聞けず)
- ・ 学会は地方学会重視 必ず一言(病名と氏名)
- ・ 患者さんと一緒に 病気を語り、病気を聞いて、病気を治そう
- ・ 外来患者さんにはお土産と宿題
- ・ 笑顔は元手の要らない最大のおもてなし
- ・ 情報とスピードは大きな武器
- ・ 老人の症状は、薬を疑え(ホリファーマシーなど)
- ・ 院長・幹部職員の仕事は、一に医師集め、二に医師集め、三四がなくて、五に医師集め
- ・ 病院づくりは産つくり
- ・ 研修のない組織は成長しない 評価・検証のない組織は減が

私の考え 1

- ・ 少子高齢化の現況か
- ・ 少子化対策はスタートアップ、ファブに学べ
- ・ 修学旅行は病院へ(多岐共生)
- ・ 医療と教育は日本の2大基幹産業
- ・ 病院こそ地域のコミュニティセンター(教会、神社→メセナ、シティホール→ホスピタル)
- ・ 山古志村を減ぼすな
- ・ 病院と学校は互に食べられる距離に
- ・ 21世紀は21世紀のつけを払う世紀(地球の治療)
- ・ GNPからGNHへ
- ・ 患者のQOL、スタッフのQOL、立ち去り型サボタージュ防止(ワークライフバランス)
- ・ 苦悶する病院と繁栄する周辺産業
- ・ 三現主義(現場に出て、現物を見て、現実的に考える)＝京都学派
- ・ 日医は病院の強い味方か
- ・ 医療関係の五輪はたつた
- ・ 国民皆保険制度と憲法9条は世界文化遺産
- ・ EBMの時代はEBR (Evidence based Reward)
- ・ 物から技へ、技からシステムへ(診療報酬の原則)
- ・ 病院と学校は地域の文化レベルを反映
- ・ 地方創生は遊能遊所(遊能)
- ・ 地方創生は三種分立より
- ・ 我が国の最大企業はトヨタ、新日鉄、重工業、パナではなく行政である
- ・ 地域存続の必要条件是医療と教育、一次産業
- ・ コンバクトネイションはまっぴら
- ・ 医師は足りているか

■講演Ⅱ

演題「留学での貴重な経験とアメリカ医療」

市井 啓 仁 (いちい ひろひと)



カリフォルニア大学 アーバイン校
外科学外移植分野臨床外科 教授

1995年 3月 神戸大学医学部卒業
1995年 6月 神戸大学附属病院第一外科研修医
1996年 6月 大阪日本赤十字病院外科研修医
1997年12月 公立神崎総合病院外科
1998年12月 田畑胃腸病院外科
1999年 4月 神戸大学医学部大学院大学入学
千葉大学医学部大学院大学分化制御学 国内留学
2002年10月 マイアミ大学 Diabetes Research Institute 留学
2003年 4月 学術振興会特別研究員
2005年 1月 マイアミ大学外科 Research Assistant Professor
2007年 7月 マイアミ大学外科 Transplant Institute, Clinical Transplant Fellow
2010年 6月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Clinical Assistant Professor
2013年 7月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Associate Professor of Clinical Surgery
2017年 7月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Professor of Clinical Surgery



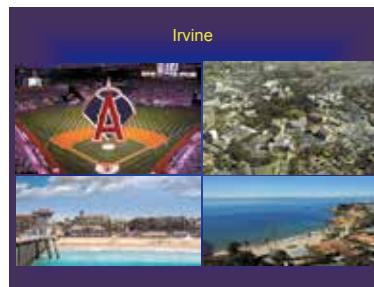
司会 中野 康治
(副会長)

1995年（平成7年）の卒業で外科に進み、1999年から千葉大学（現千葉大学長の徳久教室に留学）の後、マイアミ大学留学し、在米15年でのカリフォルニア大学移植外科教授就任となり、経過も含めた講演となった。当初髒臓移植の研究のため留学したとのことが頭から離れず、iPS細胞研究が主流の日本でどんな評価を受けるか心配した。しかし、カリフォルニア大に移り、ESMLE step1, 2をクリアし、アメリカの医師免許の取得で移植外科としての経歴がたくましく加わり、成果を存分に説明した。日本の医療技術のすばらしさを言いながら、実はアメリカ移植外科のすばらしさを毎日楽しんでいる風であった。二人の移植外科医で同大学の多数の症例をこなし、「移植での失敗はゼロです」と自信をもって話してくれた。

日本からの留学について、自治医大から毎年5名の学生を受け入れているとのことで、意見交換会での崎研究科長・医学部長と意見交換し、神戸大からも学生受け入れに努力するとのことでした。卒業生も、どんどんチャレンジして下さい。



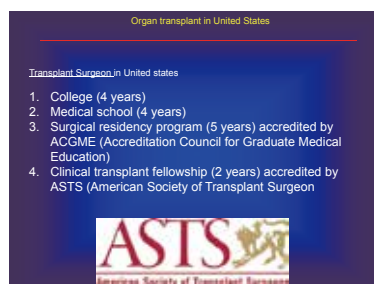
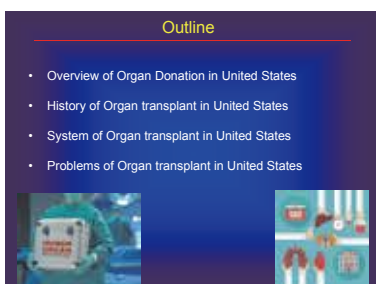
マイアミ



アーバイン



閉会の挨拶
奥町富久丸



3、4を経て移植となる

情報交換会

会長挨拶

皆さん長時間のご協力ありがとうございました。特に特別講演をお願いした邊見先生、市井先生には、大変ありがとうございました。出席者も次第に増え、充実した内容となりました。大変ありがとうございました。

なお、市井先生をお招きした背景には、神緑会理事会で海外支部の発足を図るべきとの意見があり、直ちにその活動を行います。

会館廊下の歴史展示は、これまで明治から昭和の内容が多かったのですが、昭和19年の兵庫県立医学専門学校から昭和39年の国立移管の頃までの内容に更新しました。時間をみて、是非ご覧下さい。



乾杯の発声
水野耕作（37年卒）

学生表彰

学生のクラブ活動を中心に表彰するように理事会で提案があり、上位3位までを表彰する事にしました。西医体での軟式庭球部、WJIMA（西日本医学生英語弁論大会）でのESSを優秀な成績として表彰しました。

代表の方に表彰状と金一封を贈呈した。



軟式庭球部



ESS部

先輩諸氏の挨拶



野口錦一（27年卒）



美崎教正（32年卒）



切田 学（53年卒）



会員談笑

応援してくれた学生スタッフ



京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)便り

京都大学 iPS 細胞研究所
基金事務局 徳永愛子

神緑会の皆様、平素は iPS 細胞研究所 (CiRA) に継続的なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

1月22日以降の報道でご存知かと思いますが、昨年、iPS 細胞研究所の教員 (特定拠点助教) が筆頭・責任著者として発表した論文において、研究データの改ざんやねつ造を行っていたことが、学内の調査により明らかになりました。当該の論文は米国科学誌『Stem Cell Reports』に掲載されておりましたが、2018年2月13日付けで取り下げられましたことをご報告いたします。皆様から多大な

ご支援を賜っております弊所において、このような事態が発生しましたことを伏してお詫び申し上げます。今回の事態を重く受け止め、論文不正の検証と再発防止のシステム構築をより一層強化し、皆様からの信頼を取り戻せるよう努力いたします。今後とも iPS 細胞研究にご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

今号では、iPS 細胞ストックプロジェクト関連、最新の研究成果等を紹介いたします。

名古屋第一赤十字病院との連携について

京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) は、再生医療に広く使えるように、医療用の iPS 細胞を予め作製して保存する、再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクトを進めています。これまでは、京都大学医学部附属病院 (京都市) および医療法人財団医親会海上ビル診療所 (東京都千代田区) でのみ細胞採取 (採血) が可能でした。このたび、新しい細胞採取

拠点として、日本赤十字社 名古屋第一赤十字病院 (名古屋市) にご協力頂けることとなりました。これにより中部地方在住の HLA ホモ接合体を持つ方にも、ご協力いただきやすくなります。名古屋第一赤十字病院との連携により、CiRA は再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクト構築を着実に進めてまいります。

iPS 細胞から分化誘導された、心筋細胞へと特化して分化する心筋前駆細胞 (心筋指向性前駆細胞) の目印となる分子を同定

京都大学 CiRA の武田匡史助教 (神戸大学医学部平成14年度卒業)、山下潤教授 (京都大学 CiRA 同部門) らの研究グループは、ヒト iPS 細胞から心筋細胞への分化過程において、心筋細胞へ特化して分化していく細胞集団のマーカー分子として、CD82 を同定することに成功しました。まず、ヒト iPS 細胞から分化誘導 3~5 日目の各段階の心血管前駆細胞から、心筋特異的分化培養条件 (無血清培地) または非心筋特異的分化培養条件 (血清培地) にて心筋細胞への分化誘導を検討したところ、分化誘導 5 日目の段階で、非心筋特異的な分化誘導条件 (無血清培地) でも大部分が心筋細胞へ分化するという、すなわち分化誘導 4~5 日目にかけて心筋への運命決定がなされることが分かりました。そこで

各段階での遺伝子発現を調べたところ、CD82 という細胞表面マーカーが一時的に発現しており、CD82陽性心血管前駆細胞は心筋細胞に特化して分化することが確認されました。さらに、心血管前駆細胞において CD82 を過剰発現させることで、Wnt シグナルが阻害され、その結果、心筋細胞への運命決定が促され、結果、心筋への分化誘導が促進されるというメカニズムが明らかとなりました。本研究成果は、心筋細胞の分化メカニズムについてのさらなる理解や心臓の再生医療への応用に貢献することが期待されます。この研究成果は2018年1月10日午前2時 (日本時間) に米国科学誌「Cell Reports」でオンライン公開されました。

マラソン通信

2月4日（日）に開催された第67回別府大分毎日マラソン大会に山中伸弥教授が初出場しました。参加資格がフルマラソン3時間30分以内の記録を持つ男女というレベルの高い大会ですが、山中教授は昨年の京都マラソンで3時間27分45秒の記録を出していたことから、他の出場者の方々と同様に参加条件を満たしての出場でした。大会当日は寒さが厳しく、大会前からの足の痛みを伴うマラソンとなりましたが、自己ベストを更新する3時間25分20秒で無事に完走しました。2月18日（日）に開催された京都マラソンではパラリンピック銀メダリストの道下美里選手（三井住友海上火災保険株式会社所属）と一緒に iPS 細胞研究基金の周知広報のためペア駅伝に出場しました。第1区を道下選手、第2区を山中教授が走り、3時間6分34秒でゴールしました。



別府大分毎日マラソン大会完走後の山中教授

■ 山中所長が NHK 番組に出演いたします

NHKスペシャル シリーズ「人体 ～神秘の巨大ネットワーク」に山中教授がタモリさんとともに司会として出演しております。よろしければご覧ください。

第6集 「生命誕生・あなたを生んだミクロの会話」 2018年3月18日（日） 21時～

第7集 「人体は謎に満ちている」 2018年3月25日（日） 21時～

【iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先】

iPS 細胞研究所 iPS 細胞研究基金事務局
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
TEL: 075-366-7152 FAX: 075-366-7185
メール: ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp
資料請求専用フリーダイヤル:

0120-80-8748 (平日 8時半～17時)

京都大学基金ウェブサイト
「京都大学基金」で検索してください。
URL は以下の通りです。
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

iPS 細胞研究所勝手に応援団の立ち上げについて

会長 前田 盛他

山中伸弥先生のノーベル医学・生理学賞受賞は、既に5年前の快挙です。その後の進展を逆予測した人は、「ノーベル賞は多くの場合、既に達成した

業績の評価であり、これ以上努力する必要はない」と言った。一方の山中先生は、当初から一貫して「患者さんの役に立って始めて自分の役割が果た

せる」との姿勢であり、マラソンを含む募金活動を行って、日本の寄附文化をも変えると意気込んでいる。受賞後の研究体制の充実は、約200名の研究員が今や、500名となり、研究棟も1棟から第3研究棟竣工まで進んでいます。

元来、神戸大卒業からすぐに大阪市立大整形から薬理学を経て、米国カリフォルニアのグラッドストーン研究所留学での「VW (vision and work hard)」の教訓と帰国後の動物世話などによる「PAD (post America depression)」に陥って研究をあきらめようとしながら瀬戸際で踏ん張り、現在に至る過程は、たった4名の研究グループ(奈良先端大学院大学)から京都大への移籍を経てiPS細胞の作成の成功、iPS細胞研究所への発展であり、「オールジャパン」と言いながらもつづされずに現在の再生細胞と創薬で成果を挙げています。

この短期間での研究の流れを第一線でライバルとしてみている人は、「あんなに研究費を持っている人に何で寄附する必要がある」となり、それでも冷静に見ると「彼の功績は研究遂行能力だけでなく、日本のいろんな文化を変える努力」となるはず

です。それぞれの方々の考えは多様でも、山中先生の姿勢に賛同する神緑会員による応援団を組織化したいと思います。

当面の活動のより一層の進展を支援する人ももっと先の記念館の創設を夢見る人まで、少しでも共感を持つ人なら協力の手を上げて欲しい。

遅すぎるのか、早すぎるのかも含めて活動の中で意見交換していきましょう。

第一歩(半年以内)呼びかけ人の登録 10~15名

実は、この呼びかけの文章は約半年前に作っていました。このたび、75・150周年記念事業として、世代横断の座談会を企画し、最初のグループは、平成30年2月10日に14名の参加で行われました。その中で、長崎大学薬学部卒の下村博士の例が紹介されました。同大では、下村脩先生のノーベル賞受賞に対して、多くの寄附が自然に集まり、顕彰記念館が建設されました。某大学では不幸にも「山中の受賞に、はしゃぎ過ぎないように」の指示があり、垂れ幕や立看板はあえなく撤去に至りました。皆さん、再度冷静に考えませんか？

交友プランニングセンター



友月書房で『あなたの思い』を カタチにしませんか？

全国でもトップクラスの自費出版制作の実績。
豊富な知識を持ったスタッフも常駐しております。
自費出版のことなら、
まずはお電話でお気軽にご相談ください。

あなたの思いが詰まった
大切な作品を素敵な本にいたします。

「友月書房」自費出版の制作実績



エッセイ・自分史・記念誌・詩・句集・小説・画集・写真集など

交友印刷株式会社

本社・工場・交友プランニングセンター「友月書房」

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5

TEL(078)303-0088 FAX(078)303-1320

✉ kpc@koyu-p.co.jp 《交友プランニングセンター「友月書房」専用》

🌐 <http://www.koyu-p.com/yougetu/> 《友月書房HP》

わが母校誕生のころ ―本学の神話時代― (5)

故 中 村 和 成 (医大1期 昭和26年卒)

母校大学に昇格、われわれは予科へ

2月20日(水)小川瑛五郎先生、2月21日(木)竹田正次教授、2月23日(土)真川学生課長、私が受持って会った先生方の名が古いメモに書かれています。

2月25日(月)、10時より講堂で新旧校長の挨拶がありました。鶴のような小川瑛五郎前校長とファイトのかたまりのような正路倫之助新校長は実にいい照対でした。我はひそかに新校長の口から大学昇格、そして予科編入の話が出ることを期待していましたが、とうとう最後まで先生の口からは一語もその話はずじまいでした。

2月27日(水)は教授会、おそらく大学昇格問題が出たであろうとの予想で午後3時半、会議が終ると共に私達は正路新校長を探し、そしてその話を聴こうとしましたが、何処へ行かれたのか、さっぱり行き先がわかりません。丁度運よく武田創教授と会い、一同昇格問題の焦点を聞こうとしました。先生は会議の内容はうまくそらされましたが、今迄私達が会ったどの先生よりも――先生によっては随分私達に冷たかった方もおられたのですが――非常によく話を聞き、理解してくださいました。それに力をえて誰言うことなく校長に学校で会えないなら自宅へ押しかけようじゃないかということになり、出かけるところで、ぼったり目的の正路先生に会うことが出来ました。まあ、私の部屋にとのことで校長室へ、感激しました。はじめは険しい顔をして私達の説明を聞いておられた先生が、実に私達の言い分をよくわかって下さいます。昇格実現を約すると共に“それじゃ君達は予科3年に編入と言うことで文部省に当たってみましょう”ですから。廊下へ出てから互に肩をたたき合いました。

早く正路先生、文部省へ行ってくれないかね、この間の話ではすぐ上京して話をするとのことだったが。3月も9日(土)の日になっても学校におられる正路先生をみると心配になって来ました。

3月18日(月)、午前9時すこし前、足ばやに正路先生が突然講堂へ入って来られ、例のせわしそうな

口調で学校の申請が入れられたことを告げられ、佐田愛彦先生が近いうちに文部省側として視察に来られるとのことをつけ加えられました。

3月22日(金)、佐田愛彦先生来学、4月1日(月)には校長より大学昇格問題と新に行われることになった国家試験について10分ばかりの訓話がありました。

このところ嬉しいことばかりでしたが、ここで悲しいことが起りました。4月2日、病床にあった同級生の品川普君が亡くなったのです。そして同じく大学予科へ編入を希望していた分玉義隆君も肺結核のため、日を前後して亡くなったとの報をうけたのでした。

4月8日には校長より正式の大学昇格に関する説明会。もう安心です。4月15日(月)よりは学年試験が始まりましたが心ここにあらず、どんな成績だったか、おして知るべしだったと思います。4月18日

(木)大学昇格正式決定、正路先生も嬉しかったのだと思います。29日の天長節(戦後未だありません)の式の後、お得意の邦楽のレコードコンサートなるものを先生の解説で催され、我々はチンプンカンプンながら聴き賃にアンパン2個をもらって聴かされたものでした。正路先生は後にも一度講堂で三味線を弾いて学生に聞かして下さったことがありました。

5月3日(金)、新聞紙上に予科2・3年募集要項が載り、7日、私達クラスメート141名中64名のものが予科編入の願書を呈出しました。

5月16日(木)は午後1時から体格検査。翌日は午前9時より12時まで編入試験(筆答)。

5月27日(月)には合格者の発表があり、私達64名は全員合格、他校よりの受験生をあわせて予科3年編入合格者は73名となりました。5月31日(金)には予科1年生の合格者発表。

6月10日(月)午後1時より4階大講堂にて兵庫県立医科大学予科1、2、3年生の入学式。予科長には元京城帝国大学教授動物学の森為三先生(亡)が就任され、われわれ予科生徒は6月20日より篠山連隊の旧兵舎を改造した学舎で学ぶことになり、思い出深い丹波篠山での予科生活が始まったのでした。

(完)

神戸開港150年

神戸大学医学部 呼吸器外科教授 真庭 謙昌 (医大1期 平成2年卒)

今年の神戸は開港150周年で盛り上がっています。先日車で走っていると、外国から寄港している様子の白いセーラー服姿の青年たちが元町界隈の通りを散策しているのが目に留まり（さすがに神戸でも普段はそのような光景には会いません）、埠頭の方に目を移すと、150年記念で各国から集結した大きな帆船が梅雨の合間の青空に帆を張っていました。

神戸開港。正直、私の知識としては、日米通商条約締結を迫られた江戸幕府が定めた何か所かの一つという程度のもので、明治維新との時間的關係も曖昧で、今回のアニバーサリーでその歴史をはじめて実感しています。電車に貼られた神戸市のポスターには、日本では神戸が発祥地である外国から入ってきたものが紹介されていて、「サッカー」、「牛肉」、「マラソン」、「ジャズ」、「ゴルフ」、「水族館」、「映画」など、なじみのものばかりで、少しうれしくなります。

150周年といえば、今の神戸大学医学部付属病院の前身である（県立）神戸病院も再来年、開院150周年を迎えることは、神緑会からの案内などでご存知のことと思います。私も先日、医学研究科の広報委員としてウェブサイトのトップページの改編を担当した際に、医学部付属病院の写真に「2019年に開院150周年を迎えます」というフレーズを添えさせていただきました。神戸大学医学部史¹⁾によると、当時の病院は明治2年（1869年）4月に現在の医学部に程近い場所に建てられ、アメリカ人医師が初代の病院長をされていたようで、我々が今働いている病院にも神戸開港のゆかりを感じます。これまでその時期の歴史に相当うとかった（元号と西曆さえ正確に参照できなかった）私にも、「文明開化」を少し身近に感じる機会になりました。

史料をみますと、写真からは病院というよりは洋風の邸宅といった規模にも見受けられます。それでも100人以上の収容能力があり、さらに「医学伝習所」として医学教育・医師養成もなされていたとのこと。当時の学生の方の「講義ノート」を拝見しますと、もちろん一部には前時代的な内容もみられますが、その方々のご苦勞が今の医学・医療の発展につながっていることに、自然と重みを感じます。

1年ほど前、2016年3月末で退任された解剖学の寺島俊雄名誉教授から「退職記念誌」²⁾をお送りいただきました。まずは誌面に記されたご業績のすば

らしさに驚かされましたが、それに加え、寺島先生が「解剖学」、「神戸病院」、「神戸医学校」をキーワードにして史料を集め、ゆかりの地を探訪された様子を書き留められたエッセイ集にも強く惹かれました。その中では、前述のアメリカ人の初代病院長が綴った当時の手紙であったり、「神戸病院」に結核で入院した正岡子規の入院生活やその前後の足跡といった内容を丁寧に調べあげられ、実地見聞された様子などが、入手された史料とともに紹介されていました。そして、思わぬ事実に行き着かれた時の感動がいきいきと語られています。ご自身が身を置く環境について、その黎明から現在に至るまでの変遷を学び、それを教育・研究を展開するための糧や指針にされてきた先生の取り組みに尊敬するばかりです。私もこうして知った先人達の足跡にしっかりと学び、現在の我々がなすべきことを掴み、実行していきたいと思えます。

今、私は「神戸病院150年記念誌」の編集に参加しています。前述のように25年前にも一度まとめられていますので、それ以降の資料をしっかりと繋ぐことが一番の役目ですが、それでもやはり、タイムマシンで遡ったかのように古い出来事に遭遇するのは魅力的なこと。折角の機会ですから時間を見つけて図書館の地下の古い蔵書棚に向かい、擦り切れかけた背表紙の印字に目を凝らしてみたいと思えます。

- 1) 神戸大学医学部50年史、神戸大学医学部50年史編纂委員会、1995年
- 2) 神戸 街角の解剖学、寺島俊雄、2016年（神戸大学外科学講座同門会誌第9号 平成29年9月 より転載）



諏訪山から見下ろした神戸港。右下がビーナスブリッジ。

Sweden 留学体験記－北の国から子育てとライフパズルのあり方を考える

貝 藤 裕 史 (平成13年卒)

このたび、前田会長から留学体験記の投稿についてご提案いただきました。会員の皆さんに披露するような立派な大変をしてきたわけではないのですが、ヨーロッパ留学を考えている先生方のお役に少しでも立てれば幸いです。

私は2014年10月から2017年3月まで、SwedenはUppsalaにありますUppsala Universityにpost docとして研究留学させていただきました。はやいもので帰国後1年がたとうとしております。私が所属して研究室は、Lena Claesson-Welsh教授の下、vascular biology、中でも「血管新生」や「血管透過性」を制御する蛋白あるいはcascadeを解明することを主要命題としていました。私の主要な研究テーマは「HRG (histidin-rich glycoprotein)」でした。HRGは肝臓で合成される75kDaの糖蛋白で、血漿中におよそ150 μ g/mlの濃度で存在しています。HRGは腫瘍における血管新生と腫瘍微小環境 (tumor microenvironment) における免疫状態に関係しており、HRG ノックアウトマウスでは腫瘍の増殖速度が有意に速くなることが明らかになっています。これは私の属する研究室の先行結果です (Tugues S, Claesson-Welsh L, et al. Cancer Res. 2012)。つまりHRGは抗腫瘍薬、あるいは抗炎症薬としてのpotentialを有しているといえます。しかしながらこのHRGがいったい「どこ」に作用しているのかがまったく分かっていません。そこで私には「HRG受容体の同定」と「急性炎症状態におけるHRGの作用機序の解明」というテーマが与えられました。受容体の同定という「基礎医学の王道中の王道」ともいえるようなテーマと、急性炎症という我々小児科医にもなじみやすいテーマとを与えていただき、苦しくも楽しい2年半でした。結果として、留学期間中に受容体を同定することは残念ながらできませんでしたが、この研究により得られたデータはなんとか論文化することができました。現在とある雑誌に投稿中です。

難しい話(?)はこのくらいにして、Swedenの生活で強く感じたcultural gapについて記したいと思います。異国での生活ですから、当然さまざま

場面でgapを感じるわけですが、その中でも今回は「子育て」と「gender equality」に焦点を当てたいと思います。

我が国では待機児童問題が相変わらず深刻ですが、Swedenは少し様子が異なります。1歳以上のこどもは皆förskola (幼稚園。Swedenはずいぶん前から幼保一元化がなされています) に入園できる権利を有し、保護者のどちらかが専業主婦 (夫) であっても、週30時間までの通園が可能です。そして待機期間は申請時期を問わず原則最長3-4か月と決められており、もし希望のförskolaに空きがでなければ、市内のどこかのförskolaに必ず入園できるというシステムです。保育料は収入によって当然異なりますが、最も高額な保育料でも月額1,260SEK (2015年。1SEK=約14.2円) でした。私の息子は申請後2週間で第2希望のförskolaに入園することができました。いわゆるinternationalではなく地元のこどもたちが通うförskolaですが、Sweden語が一切理解できない我々家族も分け隔てなく受け入れてくれ、とても助かりました。実は私の息子には食物アレルギーがあり、完全除去食にしている状況でした。食物アレルギーを有する児が集団生活を送ることの大変さを小児科医として実感していましたので、本当にわが子を受け入れてくれるだろうか、ちゃんと除去食を提供してくれるだろうか、とたいへん気をもみました。しかし実際には先生方は「それがなにか問題でも？」といったくらいのリアクションで、拍子抜けしたことを今でもよく覚えています。

では満1歳になるまでのこどもはどうしているのでしょうか。多くの場合、生後半年ほどしたらförskolaの待機リストに登録しつつ、入園許可が得るまで保護者が育児休暇をとります。育児休暇の総期間は「こどもが〇歳になるまで」という規定ではなく、両親あわせて計480日となっていて、月単位はもちろんのこと、日割りや時間単位での取得もできるそうです。この期間はこどもが小学校低学年までに行使すればよいということなので、こどもが生まれた時点から先々を見越して取得する方もおられ

ると聞きます。そして育児休暇期間のうち、原則父親あるいは母親のみが取得できる日数というのが定められています。つまり許された育児休暇をフルに活用するためには、父親がそれ取得「しなければならぬ」のです。そしてこの間母親は普段どおり職場復帰します。この制度ができてから、父親の育児休暇取得率が9割程度にまで上昇したと聞きます。実際、父親がひとりでベビーカーを押して街中を歩いていたり、公園で子どもを遊ばせたりしている姿を平日でもよくみかけます。育児休暇取得は男性（父親）も含め、子を持つ親の正当な権利としてしっかり認知されているようです（非正規雇用の場合は適応が難しいなど、日本と同じような問題も抱えてはいるようですが）。ほとんどの世帯が共働きであること、そして育児休暇中の金銭保障がしっかりしていることなども、育児休暇取得率を高める要因になっているのだらうと思います。

こんな制度で職場は問題なくまわるのか、当初私はとても疑問でした。しかし現地で働いているうちに、それなりにうまくまわっていることを肌で実感できました。そこには仕事に対する考え方の違いがあるように思いました。不在にする人の分のカバーは、自分たちが「できる範囲で」やる。できないことはしょうがない、その人が戻ってきてからやればいいでしょ、という割り切り。残された側にこの割り切りがないと、寛容になるのはちょっと難しいと思います。もうひとつは休暇期間の違いかもしれません。両親が交代で育児休暇をとり、さらには日割りや時間単位の休暇が可能なことから、1年近くという長期にわたって同じ人がずっと職場を不在にしているわけではない、というのも大きいのかも感じました。

Swedenは子育て家庭に優しいだけでなく、gender equalityの先進国でもあります。世界経済フォーラムにより公表された最新のレポートによると、Swedenのgender equalityランキングは世界第5位（2017年。ちなみに日本は114位）です。私の所属する研究所のオリエンテーションは、「当研究所では、人種・民族、性別、性的志向などで差別をされることは絶対にありません」といった話から始まりますし、実際vascular biology部門では6人中5人が女性PIです。なんと閣僚の男女比すら均衡しているという徹底ぶりです。この徹底されたgender equalityは子育ての領域にも及びます。父

親が母親と同等に子育てをする、これが当然であるばかりでなく、小さな子を持つ女性であっても国家が提供する社会保障制度を活用し、夫あるいはパートナーの援助を受けつつ、男性と同等に働くことが求められるのもまた当然です。パパも体調不良になったわが子を保育園に迎えに行ったり、また育児のための時短就業をしますし、小さな子どもをもつママも産前と変わらず働く機会をもつのです。

「ワークライフバランス」、日本でも頻出の単語になったかと思いますが、Swedenでは「ライフパズル」という言い方がよくされます。ライフパズルとは、「人生の様々な変化、一人一人の様々な生き方の場面、そうしたいくつもの私の暮らしの一場面を人生のパズルと捉え、バラバラになっているパズルを組み合わせるように、自分のライフスタイルを組み立てること」だそうです。我々はみな、人生と言う名のパズルの、いろいろなピースを持っている。その組み立て方は人によって違うし、また持っているピースそのものも人によって違う。そしてまた人生パズルでは、途中でピースが増えることもあるし、うまく組み合わせられないときには周りの人からピースをもらえることもある。国家の社会保障制度は、個々人それぞれが望むライフパズルを可能にするためのお助けツール（ピース）でなければならない、というポリシーは、子育て政策やgender equalityにも色濃く現れているように感じました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました飯島一誠教授（小児科学分野）、杏林大学小児科の楊国昌教授、そして職を辞してまで帯同し、毎日おいしい手料理を作って待っていてくれた妻と、どんなときも私を和ませてくれた息子に感謝の意を表したいと思います。

（神戸大学小児科同門会雑誌（若葉2016）の原稿を改変して寄稿させていただきました）

兵庫県立神戸医科大学での医学教育の今日的意義

医学教育学会理事 近畿大学名誉教授 松 尾 理 (昭和42年卒)

I 始めに

私達は神戸医科大学の最後の卒業生として昭和42年3月に卒業した後、神戸医科大学は神戸大学へ移管されなくなった。振り返ってみると、文科省の大学設置基準の大綱化（1）以前の時代であったにも関わらず、当時の神戸医科大学での医学教育が非常に先進的で、今日でも非常に新鮮なカリキュラムである。本稿では、そのような医学教育的特徴を論じてみたい。

神戸医科大学自体の特徴は、進学過程を他大学（姫路工業大学および兵庫農科大学）に委託していて、医学教育の専門課程だけの大学であった。これは、今日のアメリカの医科大学と同じ構造であるが、日米の大きな差はアメリカでは4年制の大学を出ていなければならないが、日本では2年間の進学課程を履修することであった。

進学課程を修了した後、神戸市の楠六と言われた地にある神戸医科大学に入学し、医学専門教育が始まった。4年間の医学教育は、濃厚で、先進的であったと言える。特に著者が医学教育に力をいれ、日本医学教育学会医学教育賞牛場賞を受賞した経緯から分かるように、現在の先進的な医学教育に携わっていたので、神戸医科大学の医学教育学的意味づけを現在の目線で評価することにした。この分析を可能にしたのは、学生時代の謄写版刷の時間割など非常に貴重な資料が残存していたことであり、その資料を元に当時の教育形態全体を振り返りながら、21世紀での医学教育学的意義を論じる。

II 1年

A 1学期

1学期の人体解剖学実習が医学生にとって医学部に入ったことを認識する最適の場であるのは、往時も今日も同じである。実習室はホルマリンの匂いが強烈で、息をするのも大変であった。これが医学への洗礼かと思っただ、今では特定化学物質障害予防の点（2）からホルマリンは実習室から排除されている。

進学過程の2年間は医学とは程遠いところで隔離されていたように感じられていた学生にとっては、専門教育の講義が非常に新鮮に思えた。特に生理学Ⅱの須田教授の講義では、5～6回普通の講義が進行したところで、学生を10人位の少人数に分け、グループディスカッションするコマがあった。単に受け身的な聴講ではなく、何を理解し、また何を理解していないかを確認することで、須田教授の立て板に水のような講義の中身をグループディスカッション担当教員との討論を通して理解できた。このスタイルは、現代のアダプティブラーニング（3）として言われているのに相通じるものがある。

生理学Ⅱの実習で、記録を残すキモグラム用紙に墨を薄くつける時、よく煙を出したり、燃え上がったものだった。助教授の高比良先生がウサギを抱えて興奮しながら各実習室を回ってこられた事も記憶鮮明である。「諸君！これが除脳硬直だ！」と叫びながらであった。

生理学Ⅰの岡本教授は講義の時、毎回吸っていた煙草を手指でもみ消し、それをポケットに入れられた。煙が出ないか、気になっていたことを覚えている。この講義の時黒板消しと言う役をやっておられた美原先生は、乱雑に書かれた黒板の中から、後で使うであろう単語やフレーズを残しながら消していくのであった。これには、相当なウデがいるだろうと想像してた。

生理学Ⅰの実習で、出血性ショックの実習をイヌで行ったが、これが大変大きなインパクトがあった。と言うのも Guyton の有名な生理学教科書 Textbook of Medical Physiology（4）の中身を回帰でき、夜

遅くまでかかりながら救命できた時はうれしかった。このような動物を使用した実習が各種団体の力もあって、最近できなくなる傾向にあるので、医学教育用の動物使用に関して社会の理解が必要だ（5）と思っている。

1学期早々から Union Lecture があり、大変面食らった。この Union Lecture は、今で言う統合講義であるが、当時はその意味が理解できず、またどんな講義が行われていたかは記憶に無く、その良さは3年になるまで分からなかった。

B 2学期 (図1) ※以下のセピア色に変色した各図を解りやすくするため清書した (編集注)

解剖学IIの溝口先生は黒板をきれいな絵で埋め尽くされて講義された。振り返れば、組織学として画像情報が手に入りにくい時代にあって、丁寧な講義をされていたのだった。その組織像を顕微鏡で見る実習では、見える物しか見えないと言われていた。今の医療安全に通じる言葉である。また、夜遅くには南京町に連れていってもらい餃子をご馳走になった。味噌で食べた味が今でも蘇る。溝口先生は日曜ごとに学生を奈良や京都の寺院に連れて行く企画をやっておられた。筆者は残念ながら課外活動のため一度も参加しなかった。

12月には、2学期の終わりとして試験があり、口頭試問を初めて体験した(図2)。解剖学Iの口頭試問で、教授室のテーブルの上に丸いカードが伏せておいてあり、どれかを取れと言う指示であった。取ってみると、番号が書いてあって、33と告げた。すると、「頭の前から足の先まで、骨を連ねて名前を言え」と言われた。こんなもの、何の役にたつのか?と思ったものだ。口頭試問の様子が判明したのでクラスで役割分担

昭和38年度 第1学年 2学期講義時間割

第1講座 (本館3階)
講義期間 9月5日(木)~12月11日(水).....14W
但し10月11日(金)~10月17日(木) 体育週間のため休講
試験期間 12月19日(木)~12月25日(火)

月	生理学I(岡本)	解剖学II(溝口)	医化学	解剖学I
火	Union Lecture	生理学II(須田)	医化学	解剖学I
水	生理学I(岡本)	解剖学II(溝口) 11:10 11:20	医化学	解剖学I
木	解剖学I	独語(前田)	独語(リルツ)	医化学実習
金	解剖学I	英語(金子)	医化学	生理学I実習
土	解剖学II(溝口)	医動物学(北村)		

昭和38年度 第1学年 2学期講義時間割

第1講座 (本館3階)
講義期間 9月5日(木)~12月11日(水).....14W
但し10月11日(金)~10月17日(木) 体育週間のため休講
試験期間 12月19日(木)~12月25日(火)

月	生理学I(岡本)	解剖学II(溝口)	医化学	解剖学I
火	Union Lecture	生理学II(須田)	医化学	解剖学I
水	生理学I(岡本)	解剖学II(溝口) 11:10 11:20	医化学	解剖学I
木	解剖学I	独語(前田)	独語(リルツ)	医化学実習
金	解剖学I	英語(金子)	医化学	生理学I実習
土	解剖学II(溝口)	医動物学(北村)		

図1 1年2学期講義時間割

昭和38年度 第1学年 12月期試験日程

日	時間	科目	担当	番号
12月19日(木)	9-10	解剖学I(口答)	武田教授	6301-6305
	10-11	"	"	6306-6310
	11-12	"	"	6311-6315
12月20日(金)	2-4	解剖学II(内胚葉性器官)	筆谷 溝口助教授	
	9-10	解剖学I(口答)	武田教授	6316-6320
	10-11	"	"	6321-6325
12月21日(土)	11-12	"	"	6326-6330
	2-4	解剖学II(中胚葉性器官)	筆谷 溝口助教授	
	9-10	解剖学I(口答)	武田教授	6331-6335
	10-11	"	"	6336-6340
	11-12	"	"	6341-6345

昭和38年度 第1学年 12月期試験日程

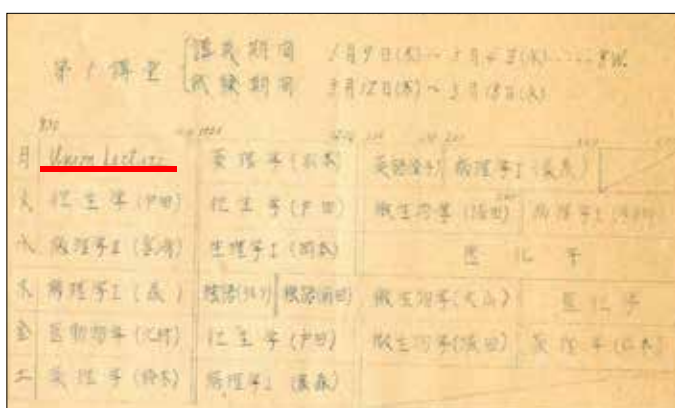
日	時間	科目	担当	番号
12月19日(木)	9時-10時	解剖学I(口答)	武田教授	No.6301-6305
	10-11	"	"	6306-6310
	11-12	"	"	6311-6315
12月20日(金)	2-4	解剖学II(内胚葉性器官)	筆谷、溝口助教授	
	9-10	解剖学I(口答)	武田教授	No.6316-6320
	10-11	"	"	6321-6325
12月21日(土)	11-12	"	"	6326-6330
	2-4	解剖学II(中胚葉性器官)	筆谷、溝口助教授	
	9-10	解剖学I(口答)	武田教授	No.6331-6335
	10-11	"	"	6336-6340
	11-12	"	"	6341-6345

図2 1年12月期試験日程

して対応策を講じた。まず、教授室のドアの外で質問内容を聞く係、それを集めて謄写版のガリ切りする係、印刷係、配布係などからなるシステムを構築した。その結果、試験当日のうちにその日の問題がクラス全員に行きわたった。コピーのない時代での最強の試験対応策だった。

C 3学期 (図3)

3学期になると、すごい講義が始まった。教授が黄色く日焼けした大学ノートを持ち込んで、それをただ読むだけの講義であった。1年上の先輩にノートを借りたら、一言一句全く同じであった。さらに欄外にここでこういう冗談を言うと書いてあったが、それも全く同じであった。そこで、講義の意味を問うクラス会を開き、教授と同じノートがあるから出席をやめようと全員一致で決まった。しかし全員居ないとボイコットで処分されるかもしれないと恐れて、3人だけ最前列で座ることにした。



第1講堂 講義期間 1月9日(木)~3月4日(火)...8W.
試験期間 3月12日(木)~3月18日(火)

月	Union Lecture	薬理学(松本)	英語(金子)	病理学 I (家森)	
火	衛生学(戸田)	衛生学(戸田)	微生物学(堀田)	病理学 II (波多野)	
水	病理学 II (宮崎)	生理学 I (岡本)	医化学		
木	病理学 I (森)	独語(リルツ)	独語(前田)	微生物学(大山)	医化学
金	医動物学(北村)	衛生学(戸田)	微生物学(堀田)	薬理学(松本)	
土	薬理学(鈴木)	病理学 I (家森)			

図3 1年3学期講義時間割

その結果クラブに励む者や、下宿に帰る者など、各自が好きなことをして過ごした。小生は図書館の小部屋でNEJMのCPCを仲間とやった。このCPCの話聞きつけた臨床系のドクターが時折やってきて、アドバイスやコメントしてくれた。これが、大講堂での講義よりもインパクトあったのだった。この少人数の問題解決型の学習スタイルは、近年 Problem-based Learning (PBL) (6) と言われるもので、昨今多くの教育機関で導入されているスタイルである。当時は、その教育学的意義など分からず夢中でやっていたが、筆者が近畿大学医学部の教育責任者になって全学年にPBLを導入した(7)が、その原点は学生時代のこの体験であった。

1年の3学期にも試験があり、いずれも口頭試問だった。ある科目では、教授がちょうど出張から帰ってきた直後で、遅れて入ってきた。見るからにご機嫌悪い顔しながら、2~3質問して出て行った。別の科目では、前のグループと同じ質問だった。また、別のグループでは、教授の高校の同窓生の話となり、雑談でグループ全員合格となった。このように口頭試問そのものの適性を疑う(8)体験を学生時代にさせてもらった。

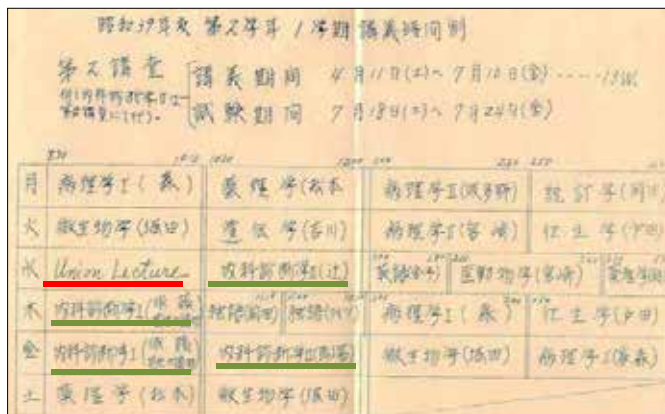
III 2年

A 1学期

怒涛のような1年が過ぎると、2年は微温湯そのものであった。講義も実習もそれなりにあった(図4)が、1年の科目に比べて非常にインパクトが小さいように感じた。しかし、残っていた時間割をよく見てみると、内科診断学が4コマ/週並んでいるのに驚かされる。このように神戸医科大学の医学教育の特徴の一つに、内科各論の講義がなく、内科診断学の講義・実習が行われていることと言えよう。

仮に当時の先端的な内科各論講義が行われたとしても、医療人として数十年働くであろう医学生には、

トータルとして役に立たない内容の講義を受けたことになってしまう。それよりも、内科診断学として、考え方を重視した教育を施したカリキュラムは非常に先端的で、今日でも素晴らしいものであると確信して言える。これは、clinical reasoningとして最近医学教育への関心が高まっていることに通じるものである(9)。



月	8:30	10:10-10:20	12:00-1:00	2:40-2:50	4:30
月	病理学Ⅰ(森)	薬理学(松本)	病理学Ⅱ(波多野)	統計学(岡田)	
火	微生物学(堀田)	遺伝学(吉川)	病理学Ⅱ(宮崎)	衛生学(戸田)	
水	Union Lecture	内科診断学Ⅱ(辻)	英語(金子)	医動物学(宮崎)	薬理学(松本)
木	内科診断学Ⅰ(依藤 子の他の講義)	独語(前田)	独語(リルツ)	病理学Ⅰ(森)	衛生学(戸田)
金	内科診断学Ⅰ(依藤 子の他の講義)	内科診断学Ⅱ(馬場)	微生物学(堀田)	病理学(家森)	
土	薬理学(松本)	微生物学(堀田)			

図4 2年1学期講義時間割

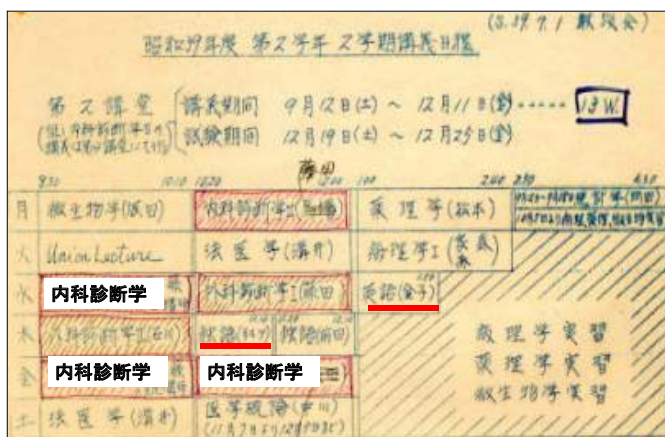
2年1学期 試験日程

衛生学の口頭試問で、とんでもない問題が出た。実は、筆者は地方自治体主催の施設で青少年野外活動のボランティアをしていて、その飲料水が山から流れくる水だったので、その安全性検討のために衛生学へ相談に行った。飲料水として安心できるために衛生学的な介入を拝借しに行ったのだった。ところが口頭試問で、その事が問われたのだった！ラッキーと思いながらも、この不公平性は一体なんだ！と腹が立ってきた。

B 2学期

2学期も同様に内科診断学が4コマあり、考える内科学を教育する姿勢が伺いしれる(図5)。さらに、外科も診断学が始まり、論理的に診断に至るプロセスを臨床問題として学ぶのは面白かった。

病理学、薬理学、微生物学の実習があったが、ほとんど印象に残ってない。多分、実習書に書いてあることを機械的にやっていたのであろう。この実習書依存型の実習と正反対の実習、すなわち実習書のない実習を筆者は基礎統合実習(10)(11)として全国の医学生を対象として10数年やっているが、大変好評で、基礎系の研究者としての進路をとる学生が輩出してきている(後述)。



月	8:30	10:10-10:20	12:00-1:00	2:40-2:50	4:30
月	微生物学(堀田)	内科診断学(藤田)	薬理学(松本)		●●●●● ●●●●●
火	Union Lecture	法医学(清井)	病理学Ⅰ(家森)		
水	内科診断学	外科診断学Ⅰ(藤田)	英語(金子)		
木	外科診断学Ⅰ(石川)	独語(リルツ)	独語(前田)		病理学実習 薬理学実習 微生物学実習
金	内科診断学	内科診断学(馬場)			
土	法医学(清井)	医学概論(中川) (11月7日より 12月1日まで)			

(S.39. 7. 1 教授会)

図5 2年2学期講義時間割

2学期末の試験も口頭試問主体で、5人に1時間かけ、朝9時から午後4時まで3日続きで教授がやっているのは、相当気合入れて試験しているようにみえた。しかし、その試験の中身は、決して公平なもの(8)と言えなかった。

C 3学期

3学期になると、医学部らしい講義内容になってきた(図6)。特に、内科臨講は3年と2年の2学年合同として中央講堂で行われた。患者さんがストレッチャーで連れてこられて、学生に供覧するというスタイルであった。1年上の先輩が光ってみえたのもこの合同臨講だった。これは、今の医学教育で言う屋根瓦方式(12)の原始的なものであろう。学生の心理として、教員の評価よりも、同僚である学生の評価の方を気にするのは、昔も今も同じである。しかも、プラクティカントと呼ばれた担当学生はプレゼンをしたり教授の質問に答えたりするので、相当勉強をしてこなければならなかった。

昭和39年度 第2学年 3学期講義時間割

第2講堂 講義期間 40.1.9(土)~40.3.5(金) ... 8W.
試験期間 40.3.13(土)~40.3.19(金)

月	産婦人科学(赤堀)	耳咽科学(服部)	外科学総論I()	内科学II(馬場)
火	皮膚科学(佐野)	眼科学(井街)	※ 内科臨講I(友松)	
水	放射線医学(宮垣)	小児科学(児嶋)	英語(金子)	
木	精神神経科学(橋本)	独語(前田)	独語(リルツ)	※ Union Lecture 外科学総論II(石川)
金		法医学(溝井)	※ 内科臨講I(辻)	
土	整形外科科学(桜井)	医学概論(中川)		

昭和39年度 第2学年 3学期講 義時間割

第2講堂 講義期間 40年1月9日(土)~40年3月5日(金) ... 8W.
試験期間 40年3月13日(土)~40年3月19日(金)

(但し金印は中央講堂にて。2学年合同講義)

月	産婦人科学(赤堀)	耳咽科学(服部)	外科学総論I()	内科学II(馬場)
火	皮膚科学(佐野)	眼科学(井街)	※ 内科臨講I(友松)	
水	放射線医学(宮垣)	小児科学(児嶋)	英語(金子)	
木	精神神経科学(橋本)	独語(前田)	独語(リルツ)	※ Union Lecture 外科学総論II(石川)
金		法医学(溝井)	※ 内科臨講I(辻)	
土	整形外科科学(桜井)	医学概論(中川)		

(S.39.11. 18 教授会)

図6 2年3学期講義時間割

IV 3年

A 1学期 (図7)

当時の医学図書館は、外部の China Medical Board から資金を獲得されて建設された非常にモダンなものだった。研究者がデータをまとめて論文にするのに時間がかかるから、個室を月単位で貸し出す小部屋も設置されていた。図書館の奥の事務部門に印刷機 Elefax があり、管理している「かっぱちゃん」に頼んでいろいろ印刷をさせてもらった。

役に立ちそうな資料(本など)を安い値段で配布できた。例えば、図8の整形外科の本は13ページで30円であった。コピー機のない時代に、それなりに適応した学生の知恵だと思い返される。

付属病院の ECG 検査の部屋で OJT もどきの実習を1週間やった。と言うのは、アメリカのある大学で1週間ぶっつけで ECG をスライドで学生に見せ続けて ECG 判読のベテランにしたと言う話を聞いたからである。2~3日すると慣れてきて、部屋の担当者がペンの音で大体波形が想像できると言ったのは、あながち大法螺ではないと思った。ある日、電極をでたらめにつけて ECG をとり、第1内科の依藤先生に珍しい患者さんが来たと見てもらった。しかし、すぐ見破られた!

内科臨講IIで辻教授が患者の尿が入っているカップに指を入れてなめた。患者のあらゆる情報を取るために尿の匂いはもちろん、味も必要だと前置きがあった後、まずご自分で尿カップに入れた指を舐められたのだった。次いで、担当のプラカンに尿カップを渡して指をなめさせた。しかし、辻教授は学生に観察力がないと怒った。尿カップに入れた指と違う指をなめたのだった。しっかり観察せよと言われても、中央講堂で200人位の学生が見ている所では、無理な話でプラカンが可哀そうだった。

始めてオペをしたのは、故勝部洋一君の父の病院で、いわゆるアップと言うのであった。彼は慣れたものだったが、小生はオペに入るのは初めてで、結んだ糸がほどけてはいないか？などいろいろ心配で夜寝むれなかった。東の空が白じんできたころ、病室に行くと患者さんが「先生、ありがとう！」と言われ、得も言われぬ喜びが沸き上がった。このように、医療を受ける側からのフィードバックは、医学生には大変重要で、教育的意義が高いと教員になってから再認識している。

昭和40年度 第3学年 1学期 講義時間割

中央講堂 講義期間 4月13日(火)～7月12日(月) ...13W
 (但し4月13日(火)は春期講義3年)
 試験期間 7月20日(火)～7月26日(月)
 (但し4月20日は第4学年と合同講義を行う)

月	産婦人科学(赤堀)	公衆衛生学(喜田村)	外科臨講Ⅱ()	法医学(溝井)
火	精神神経科学(橋本)	独語(前田)	眼科学(井街)	※内科臨講Ⅰ(友松)
水	放射線医学(楳林)	公衆衛生学(喜田村)	内科学Ⅰ(上羽)	外科学Ⅰ・Ⅱ交代 英語(金子)
木	小児科学(児嶋)	医事法制(須川)	※外科臨講Ⅰ()	※Union Lecture
金	泌尿器科学()	皮膚科学(佐野)	※内科臨講Ⅰ(辻)	
土	耳鼻咽喉科学(服部)	整形外科科学(桜井)		

昭和40年度 第3学年 1学期 講義時間割

中央講堂 講義期間 4月13日(火)～7月12日(月) ...13W
 試験期間 7月20日(火)～7月26日(月)
 (但し4月20日は第4学年と合同講義を行う)

月	産婦人科学(赤堀)	公衆衛生学(喜田村)	外科臨講Ⅱ()	法医学(溝井)
火	精神神経科学(橋本)	独語(前田)	眼科学(井街)	※内科臨講Ⅰ(友松)
水	放射線医学(楳林)	公衆衛生学(喜田村)	内科学Ⅰ(上羽)	外科学Ⅰ・Ⅱ交代 英語(金子)
木	小児科学(児嶋)	医事法制(須川)	※外科臨講Ⅰ()	※Union Lecture
金	泌尿器科学()	皮膚科学(佐野)	※内科臨講Ⅰ(辻)	
土	耳鼻咽喉科学(服部)	整形外科科学(桜井)		

図7 3年1学期講義時間割

整形外科 (野口新三(=))

6115 石田 6121 川野 6127 田中 6137 福止 6171 竹野 6152 中山 6132 前田 6162 宮野

6100 森 6102 大賀 6104 大賀 6106 大賀 6108 大賀 6110 大賀 6112 大賀 6114 大賀 6116 大賀 6118 大賀 6120 大賀 6122 大賀 6124 大賀 6126 大賀 6128 大賀 6130 大賀 6132 大賀 6134 大賀 6136 大賀 6138 大賀 6140 大賀 6142 大賀 6144 大賀 6146 大賀 6148 大賀 6150 大賀 6152 大賀 6154 大賀 6156 大賀 6158 大賀 6160 大賀 6162 大賀 6164 大賀 6166 大賀 6168 大賀 6170 大賀 6172 大賀 6174 大賀 6176 大賀 6178 大賀 6180 大賀 6182 大賀 6184 大賀 6186 大賀 6188 大賀 6190 大賀 6192 大賀 6194 大賀 6196 大賀 6198 大賀 6200 大賀

整形外科
 (番号と名前をかくこと！)
 第2 Elefax 申込書 (63部のみ) 8部のこり
 約15ページ ¥200円

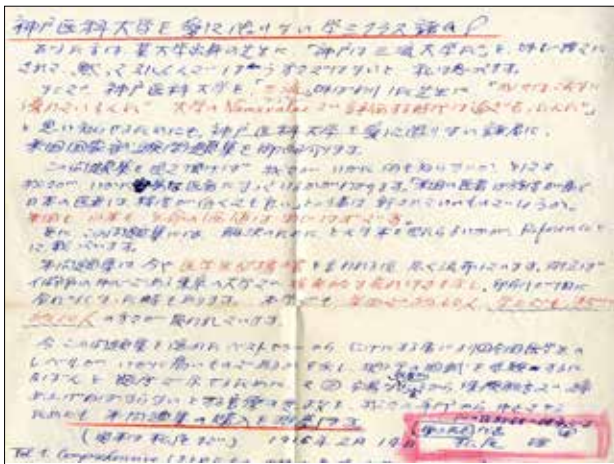
1 6313 石田 織生	24 6346 森	47 長谷川
2 6347 森 允之	25 6343 宮本	48 常深
3 6356 岡	26 6334 松尾	49 6306 深田
4 6321 川野	27 6355 大賀	50 6327 小林
5 6372 田中	28 6354 西村	51 中尾
6 6307 福辻	29 6329 楠	52 6363 サカイ
7 6371 竹野	30 6328 河野	53 6382 下Umeda
8 6352 中山	31 6340 宮地	54 6341 宮本
9 6332 前田	32 6337 松永	55 6386 安井
10 6362 鷺野	33 6364 阿東	56 6387 保尾
11 6361 大槻	34 6368 鈴木	57 6379 友久

図8 Elefax印刷申し込み

海賊版図書の販売： ECFMG への道

当時の中央講堂の前に東京からトランクに一杯本を積んで来て、いわゆる洋書を格安で販売する人がいた。安い訳は写真製版の海賊版だったからである。基礎系から臨床系まで各分野の代表的な本がそろっていた。ある時妙な本を見つけた。それはアメリカの医学生が受験するという ECFMG (Educational Commision for Foreign Medical Graduates) (13) の問題集だと言われた。日本での国試が非常に易しい時代に、問題の意味も分からない国試問題集に面食らった。早速クラスに提示して、日米も患者の生命の価値が同じなら、我々もこの問題集をやって、日米の差を埋めようクラスに提案した (図9)。その結果約60名が問題集を購入し、壮大な勉強会がスタートした。

問題集の困難さは、問題そのものの意味が掴みがたいし、回答も5択ながら、どれもこれもヤっカイであった。1問解くのに数時間かかった。結局勉強会は時間とともに縮小して行って、最後の受験まで進んだのは3名であった。



神戸医科大学を愛して限りない学三クラス諸氏！
 あなた方は、某大学出身の先生に、「神戸は三流大学だ」と呼び捨てにされて、黙って引込んでしまう方々ではないと、私は思っています。
 そこで、神戸医科大学を「三流」呼ばわりした先生に、「我々はこんなに優れているんだ。大学のName valueで評価する時代は過ぎ去ったんだ」と思い知らせるためにも、神戸医科大学を愛して限りない諸君に、米国国家試験問題集を御紹介します。
 この問題集を見て頂ければ、我々がいかに何も知らないか、そして又、我々が、いかに安易な医者になっているかがわかります。「米国の医者は程度が高く、日本の医者は、程度が低くても良い」という事は、許されていいのでしょうか。米国も、日本も、生命の価値は、同じはずです。
 更に、この問題集には、解決のために、どんな本を見たらよいか、Referenceとして、載っています。
 本問題集は今や、医学生必携の書と言われる位、広く流布しています。例えば、イ競争の中心である東京の大学で、爆発的な売れ行きを示し、印刷が間に合わなくなった時もあります。本学でも学四で約60人、学三ですと、約10人の方が買われています。
 今、この問題集を隠れたベストセラーから上げにする事により、①全国医学生レベルが、いかに高いものであるかを示し、現行の国試を受験するに及ばんと態度で示せる為、②安易な医者が出るから、保険制度で締め上げねばならないとする官僚の悪政を、我々の年代から中止させるためにも、**本問題集の購入を推奨します。**
(見本は松尾まで)1966年2月14日
 学三有志(医教研の継承体です)代表
 松尾理

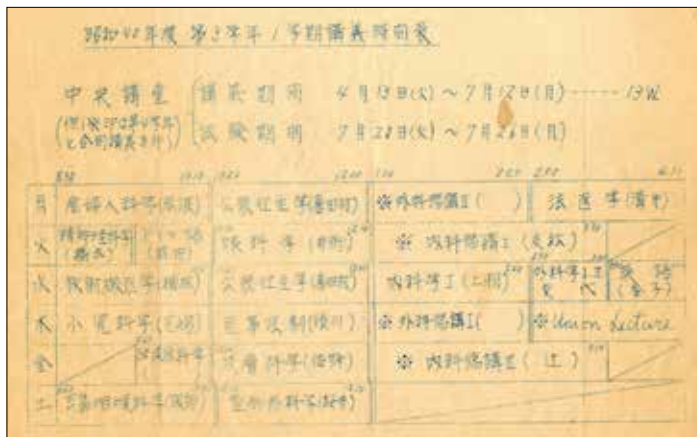
図9 ECFMG 問題集購入の呼びかけ

B 2 学期

2 学期になると、もう臨床一色に見えるようなカリキュラムである (図10)。医学をやっていると言う感じがあるものの、教員が教壇で闇雲に喋ってるのを我慢して聞くだけの講義は次第に出席が悪くなっていった。これは当然のことで、臨床講義などの臨場感あふれるものは、興味深々で出席も多かった。

局所解剖と言う枠は、非常にユニークに感じた。臨床の立場から、もう一度構造を見直すのに最適で、しかもその担当が各臨床科の中堅の粋の良い先生方だったから、臨床的意義の説明も堂に入った。現在でも通用する人体解剖学実習である (14)。

Union Lecture もこの頃になると、それなりの意義が分かってきた。例えば、肝炎がテーマだとすると、最初に肝臓の構造 (解剖学担当)、機能 (生理学担当) が話され、続いて内科、外科など関連臨床科が続いた。途中で病理学が基礎系と臨床系を仲介するようになり、今でいう病態生理的な内容 (15) であった。このスタイルは、今で言う clinical reasoning (16) と言うのに結びつくことの講義だと思う。これが、1 年から4 年まで通してあるのは、素晴らしいことである。



(医大) 昭和40年度 第3学年 2 学期 講義時間割
 中央講堂 講義期間 9月6日(月)~12月11日(土) ...14W.
 (但し10月15日(金)~10月21日(木)西医体の為、休講
 試験期間 7月20日(火)~26日(月) (外科学I、II、整形外科学、産科婦人科学)
(但し産科は第4学年と合同講義を行う)

月	耳鼻咽喉科学(浅井)	精神神経科学(黒丸)	外科臨講II(友松)	泌尿器科学(雑貫)
火	公衆衛生学(喜田村)	眼科学(井街)	※内科臨講I(友松)	
水	放射線医学(楳林)	小児科学(児嶋)	整形外科学(広畑)	9月8日~9月29日医制(須川) 10月27日~12月8日局所解剖
木	眼科学(井街)	皮膚科学(佐野)	※外科臨講I(光野)	※Union Lecture
金	産科学(植田)	産科学(林) 英語(金子)	※内科臨講II(辻)	
土	ドイツ語(前田)	公衆衛生学(喜田村)		

図10 3年2学期講義時間割

英語

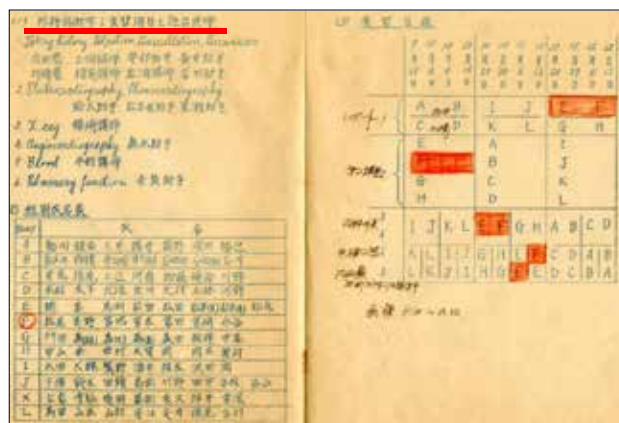
カリキュラム上は英語と標記されているが、実際は医学英語であって、日本の医育機関の中で最初に正式科目として教育された。担当の金子敏輔先生 (17) は神戸医科大学発足当初から携わっておられ、臨床的な医学英語教育に徹していて、医療面接を始め、教科書にないような最新の psychosomatic medicine (18) までプリントを使用しながら流著な英語 (音だけ聞けば native なアメリカ人が話しているようだった) とともに講義されたが、極めて先進的な内容だった。窓から見える港を見ながら、諸君はあの船に乗ってアメ

リカへ行けと何度も話されていた。対照的にドイツ語の講義は、何もインパクトがなかったが、ドイツ語研究会の学生には魅力的だったようだ。

外科診断学Ⅰの口頭試問で光野教授の部屋に入ると、ザーネという言葉を知らん！と前のグループの愚痴を聞かされて終わった。ここでも、口頭試問の平等性、公平性が見られなかった。

内科診断学実習 (図11)

内科診断学実習が9月から12月にかけて週1回行われた。大学が力を入れていた内科診断学を実習させて学生の力をつけようとしていた事が理解できる。臨床実習の前段階として、基本的な病歴の聴取や聴診、触診から始まり、各種臨床検査が組み込まれていた。図のように、実習項目が英語で書いてあるのも特徴だ。



(1)内科診断学Ⅰ実習項目と担当医師

1. Taking history, Palpation, Auscultation, Percussion
内田寮 上朋講師、安部助手、長井助手
川崎寮 猪尾講師、松浦講師、吉田助手
2. Electrocardiography, Phonocardiography
鈴木助手、松本助手、黒瀬助手
3. X, ray 福崎講師
4. Angiocardiology 森本助手
5. Blood 今村講師
6. Pulmonary function 世良助手

(2)組別氏名表

group	氏名
A	鮎川、鎮西、土井、藤井、藤野、深田、福辻
B	長谷川、穂積、井上(侃)、井上(善)、石田(文)、石田(紘)、石川
C	井尻、垣尾、上辻、河南、加藤、勝部、川野
D	木村、木下、北垣、北川、北村、小林、河野
E	楠、姜、馬淵、前田、松田、松本(晃)、松本(寿)、松永
F	松尾、美野、宮地、宮本、宮田、宮崎、水谷
G	門田、森(顕)、森(允)、森(喜)、森田、棕棒、中尾
H	中山、西、西村、大賀、岡、岡本、奥村
I	太田、大槻、鷺野、酒井、阪本、沢田、関
J	下浦、鈴木、田頭、高岡、竹野、田中、谷内、谷山
K	立岩、寺杣、徳岡、富岡、友久、坪井、常深
L	馬田、山本、山村、安江、安井、保尾、吉村

(3)実習日程

	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日
レポート1	A	B	C	D	I	J	K	L	E	F	G	H
第2講堂2	E	F	G	H	A	B	C	D	I	J	K	L
内科外来	3	IJKL	4	KLIJ	5	EF	GH	6	AB	CD	DC	BA

病棟8:30~10:10

図11 内科診断学Ⅰ実習項目と担当医師、実習日程 (セピア色資料をわかりやすくしたのが(1)~(3)です)

C 3学期

臨床実習が始まった (図12)。外来実習はワクワク感いっぱいだったが、ほとんどの臨床科で教授 / 助教授の診察風景を見学するのみで、ボーっと立ってる足がだるく非常に疲れた。ごく少数の科でのみ、いわゆるアナムネを取る実習があった。

病棟実習では、第1内科の受け持ち患者が pheochromocytoma で、病歴の話の他にいろいろ話されたことが印象に残っている。誘発試験前に実習が終わったのが残念であった。第2内科では腎不全の患者を受け持ったが、日々憔悴していった状況に胸が痛んだ。人口透析のない時代での治療の限界をみせつけられた。

昭和40年度 第3学年 3学期 講義時間割

中央講堂 (中) 講義期間 S.41.1.10(月)~3.5(土)
 ポリクリ期間 S.41.1.10(月)~3.12(土)
 試験期間 S.41.3.14(月)~3.19(土)

局所解剖学

基礎講座配属実習

昭和40年度 第3学年 3学期 講義時間割

中央講堂 講義期間 S.41.1.10(月)~3.5(土)
 ポリクリ期間 S.41.1.10(月)~3.12(土)
 試験期間 S.41.3.14(月)~3.19(土)
(※印は医学部第4学年と合同講義)

月	精神臨講(黒丸)	各科外来臨床講義 病棟実習及び手術 見学	整形臨講 (相木)	外科臨講 I (光野)
火	耳鼻臨講(浅井)	"	※内科臨講 I (友松)	小児臨講(平田)
水	放射線臨講 (榎林)	"		局所解剖学
木	外科 I II 交代	"	外科臨講 II (佐藤)	※Union Lecture
金	泌尿器科学()	"	※内科臨講 II (辻)	英語 (金子)
土	独語(前田)	"		

第4学年はS.41.1.17(日)~3.12(土)
 基礎講座配属実習

図12 3年3学期 時間割

V 4年

B 2学期

この時期の試験は、恐らく卒業試験としての意味付けであったと思うが、そこでも不平等な口頭試問が外科学 I, 外科学 II, 皮膚科学で行われた。筆頭試験は、英語、ドイツ語の他に、整形外科学、内科学 I, 内科学 II があり、その週に風邪でも引くと大変なことになるのは、昔も今も同じであるが、そのような病欠になる同級生はいなかった。昔の学生の方が、頑強だったのだろう。

C 3学期

この期間は全て基礎配属実習に割り当てられ (図12 最下段に第4学年の記載ある)、臨床系の講義や実習が全て済んだ後に、基礎医学を再認識し、研究マインドを醸成させると言うきわめて現代的な医学教育的意義をもっている。しかも特筆すべきは、当時の文部省の規制が非常に厳しい時代であったにも関わらず、全国に先駆けてカリキュラムに入れられたことで、神戸医科大学の医学教育の大きな特徴であることは、間違いのない。当時、学内で誰がその先見性を元にアイデアを出して新規なカリキュラムにされたか、ご存知の方はお知らせ願いたい。

小生が日本生理学会の教育委員会委員の時基礎配属に関する全国調査を行った (図13) (19)。その結果、図のように全国に先駆けて始められており、2番手の順天堂大よりも4年、3番手の東京大学よりも7年も先行していた。この基礎配属の教育的効果を判定する方法は確立されてないが、研究マインドを刺激し研究者への道を歩むきっかけになったのは、間違いのない。と言うのも、ある年の日本生理学会の際、神戸出身の教授に集まってもらった所、16名になった。これは、日本の医学部に生理学が2講座あるとして総計160名のうち、約1割が神戸出身者が占めると言う意味である。このことは、基礎配属が次世代の研究者養成と言う意味で、効果あったと言えるであろう。

筆者は、この基礎配属での体験を発展させて基礎統合実習と言う新しい概念の実習を行っている (11) (10)。簡単に言うと、実習書のない実習である。全国公募に応じた学生たちは大学も学年も様々な学生からグループを構成し、事例シートをもとに討論しながら、実習テーマを決め、測定項目を決め、実際に測定し、評価するというサイクルを何回も繰り返しながら、最終目標に突き進んで行ってる。これは、まさしく研究者のやることを体験していることになる。臨床研修が必修化されて以来、基礎研究室にはほとんど医学部新卒生がいけない現状から、日本のライフサイエンスの将来が危惧されるところであるが、この基礎統合実習体験者の中から、研究者への道を歩んでいる若者が輩出してきているのは、その効果の表れであると言える。

筆者が体験した基礎配属の内容は、研究室で教員の研究の手伝いとか、抄読会と言われる本読みとか、自分で実験するとか、講座によって様々だった。特に何もしない放置（放任）型の講座に人気があったようで、抽選会で割り当てを決めるほどであった。筆者は、CPCで病理のドクターが最後に出てきて症例について詳しく解説していたことから、病理学講座に行った。しかし、そこには情報としては何もなく、パラフィン切片を切ったぐらいで、後は自主放任型に鞍替えした。

基礎配属実施校調査

大学名	制度の名称	開始年度	対象学年	講座形式	コマ数	実施時期	配属講座	その他
神戸大学	基礎配属実習	36	5	コ	176(8週連)	9~10	キ,ケ	16
順天堂大学	基礎ゼミナール	40	3	コ	36(土,2コマ×18週)	1~7	キ	15
東京大学	集中実習 (フリークォーター)	43	4	コ	88(4週連)	6/24~7/20	キ,ケ	57
大阪大学	基礎講座配属	44	4	コ	184(9週連)	10/15~12/14	キ,ケ	44
日本医科大学	選択授業	45	2	コ	24(土,2コマ×12週)	10/2~2/15	キ,ケ	26
東京女子医科大学	セミナー	46	1~3	コ	24(金,後,1コマ)	4~3	キ,リ,シ	50
和歌山県立医科大学	基礎配属	47	4	コ	154(7週連)	10/28~12/21	キ,ケ	15
大阪市立大学	修業実験	47	4	コ	30(土×15週)	9/11~12/24	キ,シ	18
福島県立医科大学	基礎上級	50	5	コ	132(6週連)	10/14~11/23	キ,ケ	13
名古屋大学	M2セミナー	52	4	コ	30(土,2コマ×15週)	9/2~12/21	キ,リ,ケ	45
愛媛大学	基礎配属	56	4	コ		9/9~11/2	キ	12
信州大学	基礎演習	56	4	コ	48(土,2コマ×24週)	9/3~11/24	キ,ケ	16
鹿児島大学	基礎医学自主学習	57	4	コ	80(午後全×8週)	1/6~3/8	キ	13
産業医科大学	研究室配属	57	5	コ	64(3週連)	7/1~7/20	キ	43
佐賀医科大学	Phase V.選択コース	58	6	テマ	44or88(2or4週連)	4~12	キ,リ,ケ	119
福岡大学	医学概論演習	58	3	コ	22(1週連)	9/2~9/7	キ	11

日本生理学雑誌
48:650-652,1986

VI 結論

神戸医科大学での医学教育は、いわゆる大綱化以前で文部省の指導や規制が非常に強かった時代であったにも関わらず、今日でも充分新鮮な先進のカリキュラムを構築されていた。まず1番目の特徴は Union Lecture で、現在の統合講義に当たるものと言えるが、当時そのような発想を支持し実現させた大学の姿勢は大変素晴らしい。2番目の特徴は基礎配属で、全国の医育機関の中で一番最初に導入された。その成果の一つとして、基礎系の研究者や教授が多く輩出したことがあげられる。3番目は、内科学の教育で疾患の各論がなく、内科診断学を充実させ、講義と実習とを行っていたことである。医師として成熟した後も、新しい疾患の診断治療などに対応できる診断学の教育に力を入れていたのであろう。このような特徴を持つ神戸医科大学は、昭和42年3月末に神戸大学に移管完了して、なくなった。当時の貴重な資料が発見された機会に、今日の医学教育学的意義を論じた。

図13 基礎配属実施校リスト

大学名	制度の名称	開始年度	対象学年	講座テーマ	コマ数	実施時期	配属講座	その他
神戸大学	基礎配属実習	36	5	コ	176(8週連)	9~10	キ,ケ	16
順天堂大学	基礎ゼミナール	40	3	コ	36(土,2コマ×18週)	1~7	キ	15
東京大学	集中実習 (フリークォーター)	43	4	コ	88(4週連)	6/24~7/20	キ,ケ	57
大阪大学	基礎講座配属	44	4	コ	184(9週連)	10/15~12/14	キ,ケ	44
日本医科大学	選択授業	45	2	テマ	24(土,2コマ×12週)	10/2~2/15	キ,ケ	26
東京女子医科大学	セミナー	46	1~3	コ	24(金,後,1コマ)	4~3	キ,リ,シ	50
和歌山県立医科大学	基礎配属	47	4	コ	154(7週連)	10/28~12/21	キ,ケ	15
大阪市立大学	修業実験	47	4	コ	30(土×15週)	9/11~12/24	キ,シ	18
福島県立医科大学	基礎上級	50	5	コ	132(6週連)	10/14~11/23	キ,ケ	13
名古屋大学	M2セミナー	52	4	コ	30(土,2コマ×15週)	9/2~12/21	キ,リ,ケ	45
愛媛大学	基礎配属	56	4	コ		9/9~11/2	キ	12
信州大学	基礎演習	56	4	コ	48(土,2コマ×24週)	9/3~11/24	キ,ケ	16
鹿児島大学	基礎医学自主学習	57	4	コ	80(午後全×8週)	1/6~3/8	キ	13
産業医科大学	研究室配属	57	5	コ	64(3週連)	7/1~7/20	キ	43
佐賀医科大学	Phase V.選択コース	58	6	テマ	44or88(2or4週連)	4~12	キ,リ,ケ	119
福岡大学	医学概論演習	58	3	コ	22(1週連)	9/2~9/7	キ	11

日本生理学雑誌
48:650-652,1986

引用文献

1. 文部科学省. 大学設置基準の一部を改正する省令の施行等について 1991 [updated 19910624. Available from: http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t19910624001/t19910624001.html.
2. 岡部繁男. 大学医学部・歯学部における正常解剖実習とホルマリン対策 2008 [updated 2008. Available from: <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/08/dl/s0806-11a.pdf>.
3. Griff ER, Matter SF. Evaluation of an adaptive online learning system. British Journal of Educational Technology. 2012;44 (1) :170-6.
4. Hall JE. Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology: Saunders; 2015.
5. 日本生理学会. 動物実験について 2009 [Available from: <http://physiology.jp/guidance/4804/>.
6. Barrows HS. Problem-based learning in medicine and beyond: A brief overview: Wiley Online Library; 1996.

7. Matsuo O. Introduction of new curriculum in Kinki University School of Medicine. J Med Education. 2000; 4 (1) :92-6.
8. 加藤浩. もうひとつの教育評価 – 状況内評価の活用に向けて – . 人口知能学会誌 . 2008;23 (2) :163–73.
9. Schmidt H, Mamede S. How to improve the teaching of clinical reasoning: a narrative review and a proposal. Med Educ. 2015;49 (10) :961-73.
10. Matsuo O, Takahashi Y, Abe C, Tanaka K, Nakashima A, Morita H. Trial of integrated laboratory practice. Advances in Physiology Education. 2011;35 (2) :237-40.
11. 松尾理, 高橋優三, editors. 基礎統合実習 未来に託せる医学生が育つ場、ここにあり . 東京 : 学際企画 ; 2007.
12. 日本医学教育学会 . 「第 36 回医学教育者のためのワークショップ」参加者による卒前・卒後の医学教育, そのつながりを観点とした医学教育改善に関する提言 . 医学教育 . 2010;41 (3) :222-5.
13. Educational Commission for Foreign Medical Graduates. About ECFMG [updated 20130402. Available from: <http://www.ecfmg.org/about/index.html>.
14. Forminykh T. Topographical Anatomy & Operative Surgery Simferopol: Crimea State Medical University; 2006 [cited 2017 20170425]. Available from: <https://thegreatnessclub.files.wordpress.com/2014/02/topographical-anatomy-operative-surgery.pdf>.
15. Garcia-Martinez R, Caraceni P, Bernardi M, Gines P, Arroyo V, Jalan R. Albumin: pathophysiologic basis of its role in the treatment of cirrhosis and its complications. Hepatology. 2013;58 (5) :1836-46.
16. Alfaro-LeFevre R. Critical Thinking, Clinical Reasoning, and Clinical Judgment: A Practical Approach: Elsevier - Health Sciences Division; 2016 20160107.
17. 高階経和. 黎明期の神戸大学医学部に偉大な足跡を残した金子敏輔先生 . 神緑会ニュースレター . 2014; 6 (3) :33-41.
18. Levenson JL. Essentials of Psychosomatic Medicine publishing. Arlington: American Psychiatric Association; 2007. 604 p.
19. 松尾理. 「特別研修制度」アンケート集計報告 . 日本生理誌 . 1986;48:650-2.

基礎配属実習は、慶応大学から着任された生理学Ⅰ 須田、生理学Ⅱ 岡本各教授が発案とは考えられてきた。昭和35年学生新聞第18号に偶然次年度のカリキュラムが掲載されており、卒業アルバムに挟み込まれた史実で裏付けられました（編集注）。

編集後記

毎年2回の総会開催を義務づけられ、その広報を使命としてのニュースレター発行から今回始めて、記念事業を先に取り上げました。募金活動に加え、座談会や前身校「兵庫県立神戸医科大学での医学教育の今日的意義」の投稿により、現在まで続く基礎配属実習の初期の事が明らかになりました。

75周年記念事業の神緑会バージョンに何をすべきかの議論が不十分なまま、進んできましたが、60周年での昭和24年から29年卒に続いて、昭和30年から36年、37年から42年までの2回の座談会は、その内容をまとめ次第、神緑会ホームページにアップし、以後の学年の活動、できれば平成30年卒までの取り組みをできるだけ進める予定です。

総会での物故者、栄誉者のリスト、又表彰時の「あいさつ」の整理も簡単ではあるが、出席を促す要因になれば何よりです。

今後一年数ヶ月の活動にできるだけ多くの会員が参加いただけるよう整理しますので、ご意見等よろしく願います。 編集委員会

神緑会ニュースレター 第9巻第4号

発行 一般社団法人神緑会
会長 前田 盛
〒650-0017
神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部内
TEL (078)361-0616
FAX (078)361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

印刷 交友印刷株式会社
〒650-0047
神戸市中央区港島南町5丁目4-5
TEL (078)303-0088
FAX (078)303-1320
info@koyu-p.co.jp

THE AUTHENTIC

六甲邸宅

正統を継ぐ住まいへ。



東側外観完成予想図

※掲載の完成予想図は、計画段階の図面を基に描いたもので実際のものとは異なります。また、今後変更になる場合があります。尚、外観の細部・各種設備機器・配管類等は一部省略又は簡略化しております。掲載は特定の季節の状況を表示したものでなく、竣工時には完成予想図同程度には成長しております。タイルや各種部材につきましては、実物と質感・色等の見え方が異なる場合があります。敷地周辺の電柱・標識・架線・ガードレール等は再現しておりません。

阪急神戸線「六甲」駅より
「神戸三宮」へ7分※1

阪急神戸線
「六甲」駅北側 徒歩5分

落ち着いた住宅地が広がる
第一種低層住居専用地域※2

南向き住戸・87㎡超 販売予定価格 **5,980万円** (税込)～

南東角住戸・102㎡超 販売予定価格 **8,490万円** (税込)～

■現地周辺案内図



■「プラウド六甲篠原北町」物件概要◎販売予定時期/2018年3月中旬◎所在地/兵庫県神戸市灘区篠原北町1丁目2番(地番)◎交通/阪急神戸線「六甲」駅徒歩5分・JR神戸線「六甲道」駅徒歩15分◎総戸数/41戸◎構造・規模/鉄筋コンクリート造4階(建築基準法上は地上3階地下1階建)◎敷地面積/2,192.74㎡(建築確認対象面積)◎用途地域/第一種低層住居専用地域・第一種住居地域◎建築確認番号/第NK17-0159A号(2017年9月21日付)◎駐車場/29台[機械式駐車場](月額使用料:16,500円～22,000円)◎バイク置場/1台(月額使用料:1,000円)◎ミニバイク置場/4台(月額使用料:500円)◎自転車置場/41台[スライドラック式](月額使用料:200円/300円)※駐車場・バイク置場・ミニバイク置場・自転車置場等の台数については、全戸分を表示しております。◎完成予定時期/2018年11月中旬◎引渡予定時期/2018年12月中旬◎管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成していただき、運営・管理業務は野村不動産パートナーズ株式会社に委託予定◎分譲後の敷地の権利形態/建物専有部分は区分所有権。敷地及び建物共有部分は専有面積割合による所有権の共有◎性能評価/設計性能評価取得済◎事業主(売主)/野村不動産(株)関西支社【国土交通大臣免許(13)第1370号(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟】〒550-0011大阪府西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)TEL:0120-06-6552◎設計・監理/株式会社東急設計コンサルタント 大阪支店 一級建築士事務所、野村建設工業株式会社 一級建築士事務所◎施工/野村建設工業株式会社 ■次期予告販売概要◎販売戸数/未定◎販売予定価格(税込)/5,980万円～10,180万円◎最多販売予定価格帯/6,400万円台(3戸)(100万円単位)◎間取り/2LDK+S～4LDK◎専有面積/78.20㎡～102.21㎡◎バルコニー面積/4.73㎡～8.80㎡※原稿制作日/2018年2月26日時点のデータで作成表示しております。※上記の概要については、今後の供給予定の全住戸のものを表示しています。一括して販売するか、分割して販売するか未定です。販売戸数等の未確定部分につきましては本広告時、ホームページ等で表示いたします。

予告広告

本広告を行い取引を開始するまでは、契約または予約の申込みは一切応じられません。また申込みの順位の確保に関する措置は講じられません。予めご了承ください。販売予定時期/2018年3月中旬

※1. ※「神戸三宮」駅へは、普通利用、通勤時間帯の所要時間は7分となります。時間帯により多少異なる場合があります。
※2. 敷地の一部は第一種住居地域となります。※従来分数表示については地図上の概測距離を、80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。※掲載の環境写真は平成29年7月撮影されたものです。

プラウド六甲篠原北町 モデルルーム案内会開催中

お問合せは「プラウド六甲篠原北町」マンションサロン

■ご来場予約・お問い合わせはこちらから

[売主]

0120-408-041

プラウド六甲篠原北町

検索



野村不動産